

台東区障害者実態調査 報告書

平成25年12月
台東区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象者及び対象者数	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査票回収数及び回収率	1
3. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. 基本的属性	3
(1) 調査回答者	3
(2) 性別、年齢	4
(3) 障害の種類と程度	5
(4) 難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことの認知度	9
2. 暮らし方について	10
(1) 現在の暮らし方	10
(2) 将来希望する暮らし方	11
(3) 現在の居住地と将来希望する居住地	13
3. 日常生活について	15
(1) 介護の状況	15
(2) 生活の中での悩みごと	20
(3) 悩みごとの相談先	22
(4) 現在の日中の過ごし方	24
(5) 就労状況	26
(6) 働きやすい環境にするために必要なこと	31
(7) 希望する日中の過ごし方	33
4. 障害福祉サービスについて	36
(1) 障害福祉サービスの利用状況	36
(2) サービスの申請手続き等を行っている人	38
(3) サービス利用支援(計画相談支援)の利用状況と意向	39
(4) サービスの支給決定内容の満足度	40
(5) サービス費用の自己負担の感じ方	41
(6) 事業者との契約の納得状況	42
(7) 事業者の対応の満足度	43
(8) 苦情や不満があった時の事業者の対応状況	44
(9) 障害程度区分の認定状況	45

(10) 障害程度区分認定調査に対する評価	47
(11) 今後、充実を希望するサービス	49
5. 自立支援医療などについて	54
(1) 自立支援医療の利用状況	54
(2) 医療的ケアの必要性	55
6. 権利擁護について	56
(1) 障害者虐待防止法の認知度	56
(2) 障害者虐待防止センターの認知度	57
(3) 虐待場面に遭遇した経験	58
(4) 成年後見制度の認知度	59
(5) 障害者相談支援事業所の認知度	60
7. 区に対する要望などについて	61
(1) 災害時に必要とするもの	61
(2) 今後、充実を希望する情報の入手先	64
(3) 地域で安心して暮らすために重要と思う施策	65
8. 自由回答	68
第3章 資料（調査票）	74

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、障害者（児）の生活実態及び要望等を把握し、「第4期台東区障害福祉計画」（平成27年度～29年度）を策定するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の概要

(1) 調査対象者及び対象者数

区分	対象	抽出方法	対象者数
身体障害者	身体障害者手帳所持者	無作為抽出	615人
知的障害者	療育手帳（愛の手帳）所持者	無作為抽出	85人
精神障害者	障害福祉サービス受給者及び自立支援医療受給者	無作為抽出	240人
難病患者	難病医療費等助成の受給者（障害者手帳非所持者）	無作為抽出	70人
その他	障害者手帳を所持していない障害児通所支援利用者	無作為抽出	10人
区外	施設入所者	無作為抽出	70人
合計			1,090人

(2) 調査方法

郵送配付、郵送回収（無記名）

ただし、対象者の約1割は職員による訪問配付・回収

(3) 調査期間

平成25年9月10日～10月4日

(4) 調査票回収数及び回収率

A：対象者数	B：回収数	C：回収率 ($B/A \times 100$)
1,090人	769人	70.6%

3. 報告書の見方

○百分率について

百分率(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、合計が100%にならない場合がある。

○図表の単位について

本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしている。

○単純集計及び分析について

質問ごとに「単純集計」を行い、その特徴等を記述している。

単純集計のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を百分率(%)の大きなものから小さなものへと並びかえた「ランキング集計」を行っている場合がある。

○クロス集計※及び分析について

各調査の対象者全員の合計を「全体」と表記し、特徴的なものについては、障害別等を分析の柱とするクロス集計表を掲載し、分析を行っている。

分析の柱である障害別は複数回答項目であり、クロス集計表においては分析の柱となる項目の「無回答」の掲載を省略している。そのため、分析軸(タテ軸)の回答者数の合計値と「全体」の数値は一致しない。

また、クロス集計表においては、傾向をよりわかりやすくするために、もっとも割合の高い選択肢の数値を太字・斜体になっている。

※クロス集計とは、例えば障害別の調査回答者(3ページ)など、2つの項目に着目してデータの集計や分析を行うこと。

○前回調査との比較について

平成22年に実施した障害福祉アンケート調査(以下、「前回調査」という)と同様の調査項目については、時系列の変化について特徴等を記述している。ただし、前回調査においては難病医療費等助成の受給者(障害者手帳非所持者)は対象に含まれていない。対象者が若干異なることから比較をするには注意が必要であり、参考までに留めること。

第2章 調査結果

1. 基本的属性

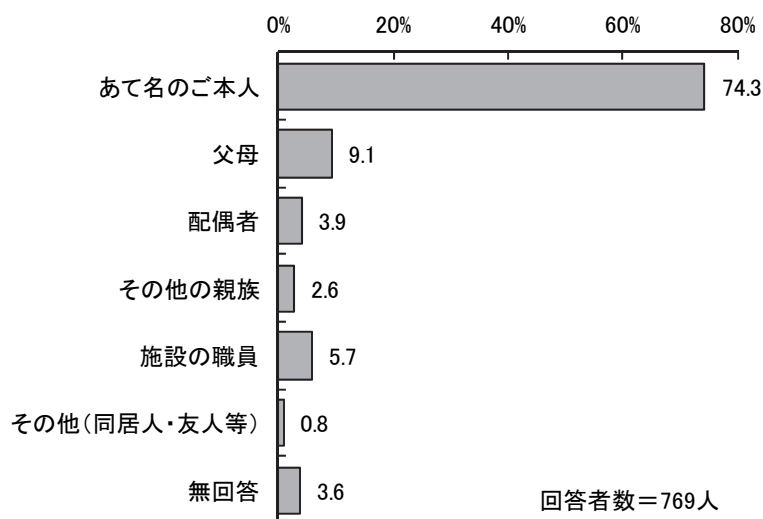
(1) 調査回答者

問1 はじめに、この調査票に記入される方はどなたですか。(1つに○)

調査回答者は、「あて名のご本人」が74.3%を占める。

障害別にみると、身体障害者、精神障害者、難病医療費等助成利用者は「あて名のご本人」が8割台を占めるが、知的障害者では2割台であり、「父母」32.8%がもっとも高い。

図表1 調査回答者(単数回答)



図表2 調査回答者(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	あて名のご本人	父母	配偶者	その他の親族	施設の職員	その他(同居人・友人等)	無回答
全体		769	74.3	9.1	3.9	2.6	5.7	0.8	3.6
障害別	身体障害者	475	80.0	6.3	5.1	2.3	1.5	1.3	3.6
	知的障害者	134	26.9	32.8	1.5	6.0	29.9	0.0	3.0
	精神障害者	160	82.5	4.4	3.8	2.5	3.1	0.0	3.8
	難病医療費等助成利用者	96	85.4	3.1	5.2	2.1	0.0	1.0	3.1
	その他	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※分析の柱である障害別については、5ページを参照

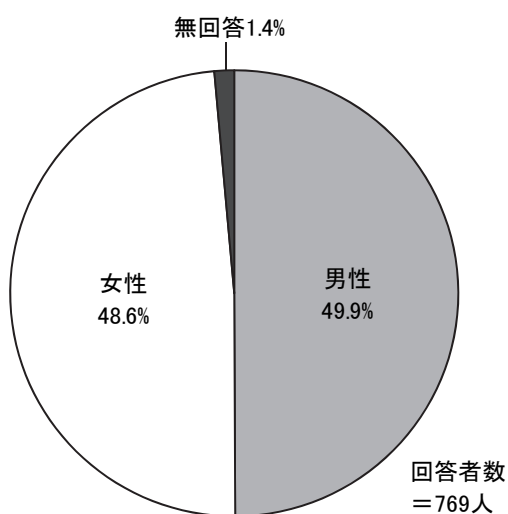
(2)性別、年齢

問2 あなたの性別、平成25年9月1日現在の年齢をお答えください。

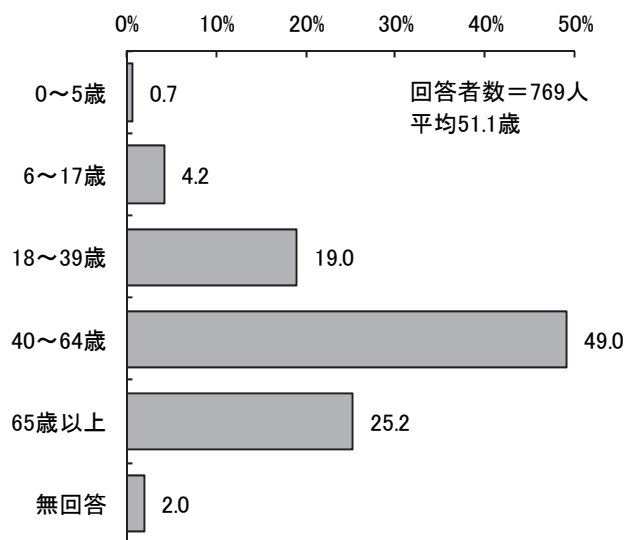
性別は、「男性」49.9%、「女性」48.6%であり、ほぼ半々となっている。

年齢は、「40～64歳」が49.0%と約半数を占める。次いで、「65歳以上」が25.2%、「18～39歳」19.0%であり、平均年齢は51.1歳となっている。

図表3 性別(単数回答)



図表4 年齢(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・その他を除くと、どの障害の人でも「40～64歳」の年齢層の割合がもっとも高い。
- ・平均年齢は、身体障害者及び難病医療費等助成利用者は50歳代、精神障害者は40歳代、知的障害者は30歳代。

図表5 性別・年齢(障害別)

(単位:%)

障害別	回答者数(人)	男性	女性	無回答	0～5歳	6～17歳	18～39歳	40～64歳	65歳以上	無回答	平均年齢(歳)	
全体	769	49.9	48.6	1.4	0.7	4.2	19.0	49.0	25.2	2.0	51.1	
障害別	身体障害者	475	50.1	48.8	1.1	0.4	2.9	12.6	50.1	32.6	1.3	54.9
	知的障害者	134	58.2	41.8	0.0	2.2	11.2	32.8	48.5	3.7	1.5	38.7
	精神障害者	160	46.9	52.5	0.6	0.0	1.3	26.9	57.5	13.1	1.3	48.1
	難病医療費等助成利用者	96	46.9	52.1	1.0	0.0	1.0	26.0	49.0	22.9	1.0	51.0
	その他	4	50.0	25.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5

※分析の柱である障害別については、5ページを参照

(3) 障害の種類と程度

問3 あなたがお持ちの障害者手帳などの種類すべてに○をして、障害の程度(級・度)を記入してください。

「1. 身体障害者手帳」に○をした方におたずねします。

問3-1 該当する障害はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

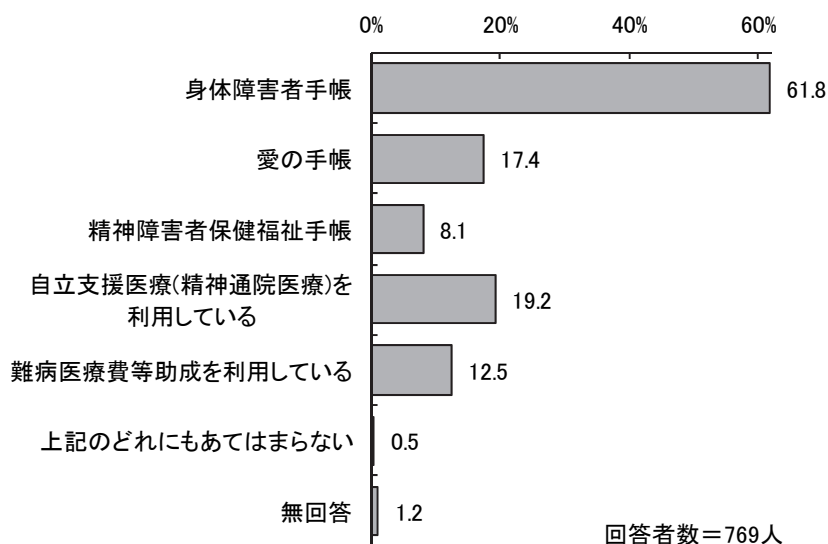
①所持している障害者手帳等

所持している障害者手帳は、「身体障害者手帳」61.8%、「愛の手帳」17.4%、「精神障害者保健福祉手帳」8.1%となっている。また、「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」は19.2%であり、精神障害者保健福祉手帳を所持または自立支援医療(精神通院医療)を利用している精神障害者の割合は全体の20.8%である。

「難病医療費等助成を利用している」は12.5%、「上記のどれにもあてはまらない」(障害者手帳を所持していない障害児通所支援利用者)は0.5%となっている。

なお、本報告書では本調査項目の回答結果をもとに、身体障害者手帳所持者を「身体障害者」、愛の手帳所持者を「知的障害者」、精神障害者保健福祉手帳所持者または自立支援医療(精神通院医療)利用者を「精神障害者」、難病医療費等助成利用者を「難病医療費等助成利用者」、上記のどれにもあてはまらない人を「その他」とし、障害別としてクロス集計の分析の柱としている。

図表6 所持している障害者手帳等(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者は「身体障害者手帳」のほか、「難病医療費等助成を利用している」が8.6%、「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」が4.8%。
- ・知的障害者は「愛の手帳」のほか、「身体障害者手帳」が16.4%、「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」が11.9%。
- ・精神障害者は「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」が92.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が38.8%のほか、「身体障害者手帳」が16.3%。
- ・難病医療費等助成利用者は「難病医療費等助成を利用している」ほか、「身体障害者手帳」が42.7%、「精神障害者保健福祉手帳」「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」が各4.2%。

図表7 所持している障害者手帳等(障害別) (単位:%)

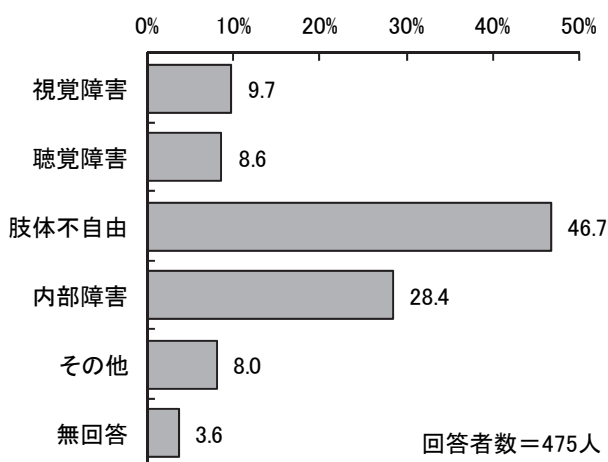
		回答者数(人)	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療(精神通院医療)を利用している	難病医療費等助成を利用している	上記のどれにもあてはまらない	無回答
全体		769	61.8	17.4	8.1	19.2	12.5	0.5	1.2
障害別	身体障害者	475	100.0	4.6	1.5	4.8	8.6	0.0	0.0
	知的障害者	134	16.4	100.0	1.5	11.9	2.2	0.0	0.0
	精神障害者	160	16.3	10.6	38.8	92.5	3.8	0.0	0.0
	難病医療費等助成利用者	96	42.7	3.1	4.2	4.2	100.0	0.0	0.0
	その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

②身体障害者の障害の種類と程度

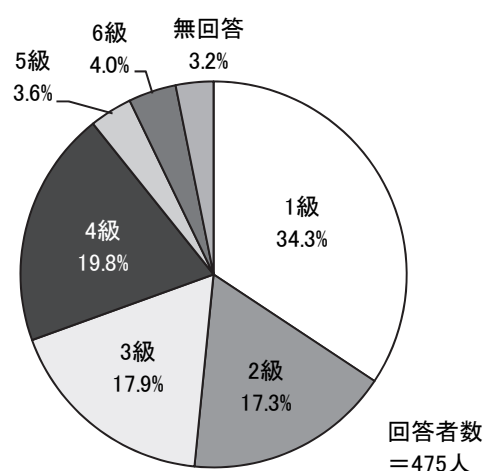
身体障害の種類は、「肢体不自由」46.7%、「内部障害」28.4%、「視覚障害」9.7%、「聴覚障害」8.6%の順となっている。

身体障害者手帳の程度は、「1級」が34.3%ともっとも高く、次いで「4級」19.8%、「3級」17.9%、「2級」17.3%の順となっている。

図表8 身体障害の種類(複数回答)



図表9 身体障害者手帳の程度(単数回答)



<身体障害の種類別にみたポイント>

- ・ 視覚障害及び聴覚障害の人は「2級」、肢体不自由の人は「4級」、内部障害の人は「1級」が、それぞれもっとも高い割合を占める。

図表10 身体障害者手帳の程度(身体障害の種類別)

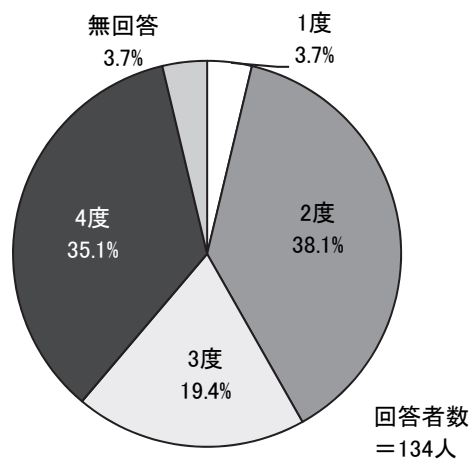
(単位: %)

		回答者数(人)	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体		475	34.3	17.3	17.9	19.8	3.6	4.0	3.2
身体障害の種類別	視覚障害	46	23.9	26.1	13.0	8.7	19.6	4.3	4.3
	聴覚障害	41	7.3	29.3	24.4	14.6	0.0	22.0	2.4
	肢体不自由	222	23.0	22.1	18.5	27.0	3.6	3.6	2.3
	内部障害	135	65.2	1.5	14.8	14.8	0.0	0.0	3.7
	その他	38	31.6	21.1	31.6	10.5	0.0	0.0	5.3

③愛の手帳の程度

愛の手帳の程度は、「2度」38.1%、「4度」35.1%、「3度」19.4%、「1度」3.7%の順となっている。

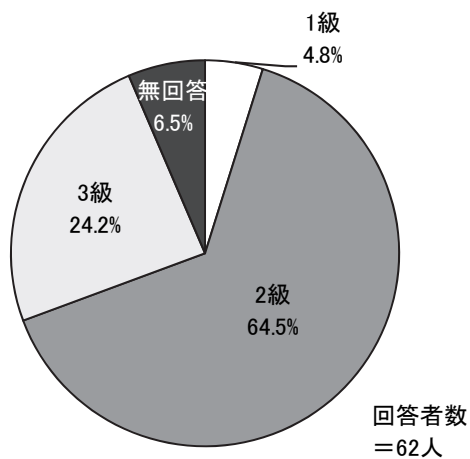
図表11 愛の手帳の程度(単数回答)



④精神障害者保健福祉手帳の程度

精神障害者保健福祉手帳の程度は、「2級」が64.5%を占め、「3級」24.2%、「1級」4.8%となっている。

図表12 精神障害者保健福祉手帳の程度(単数回答)



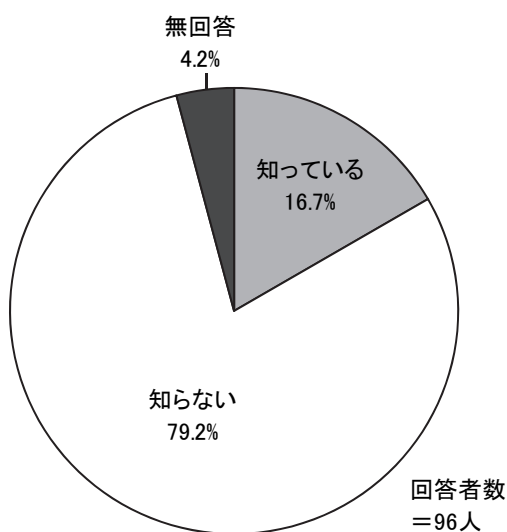
(4) 難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことの認知度

「5. 難病医療費等助成を利用している」に○をした方におたずねします。

問3-2 平成25年4月に施行された障害者総合支援法では、障害者の範囲に難病等が加わり、対象となる方は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービス等の受給が可能となりました。あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことについて、「知っている」は16.7%であり、「知らない」が79.2%と約8割を占めている。

図表13 難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことの認知度(単数回答)



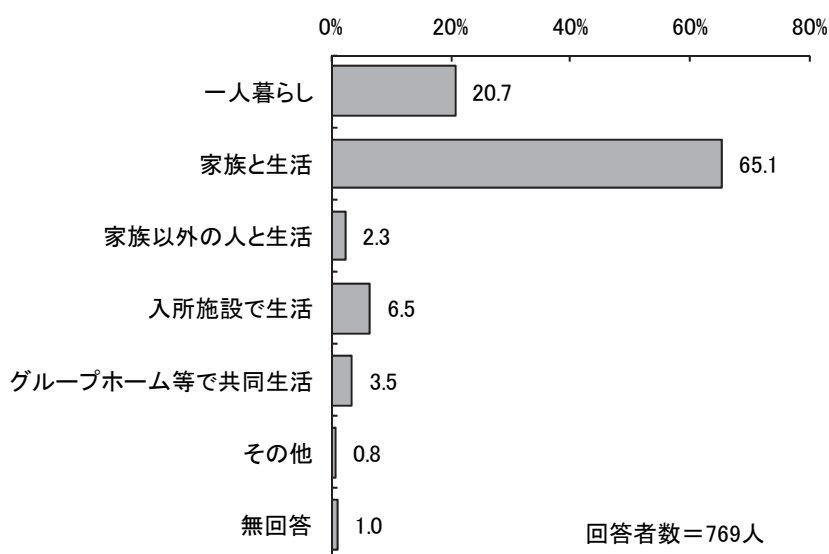
2. 暮らし方について

(1)現在の暮らし方

問4 あなたは今、どのような暮らし方をしていますか。(1つに○)

現在の暮らし方は、「家族と生活」65.1%がもっとも高い。次いで、「一人暮らし」20.7%、「入所施設で生活」6.5%、「グループホーム等で共同生活」3.5%、「家族以外の人と生活」2.3%となっている。

図表14 現在の暮らし方(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び精神障害者は「家族と生活」が6割台、難病医療費等助成利用者は8割台を占める。
- ・知的障害者は「家族と生活」が4割台。施設等（入所施設・グループホーム等）での生活者が半数近い。

図表15 現在の暮らし方(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	一人暮らし	家族と生活	家族以外の人と生活	入所施設で生活	グループホーム等で共同生活	その他	無回答
全体		769	20.7	65.1	2.3	6.5	3.5	0.8	1.0
障害別	身体障害者	475	23.8	68.0	3.4	3.2	0.4	1.1	0.2
	知的障害者	134	3.7	46.3	0.0	31.3	17.2	0.7	0.7
	精神障害者	160	28.1	61.3	1.9	3.8	3.8	0.0	1.3
	難病医療費等助成利用者	96	14.6	81.3	2.1	1.0	0.0	1.0	0.0
	その他	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

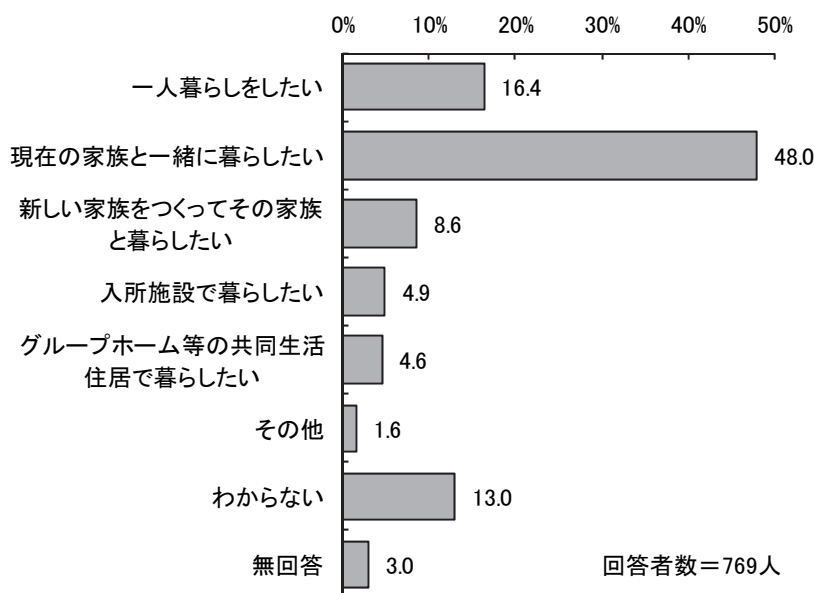
(2) 将来希望する暮らし方

問5 あなたは将来、どのような暮らし方を望んでいますか。(1つに○)

将来希望する暮らし方は、「現在の家族と一緒に暮らしたい」が48.0%と半数近くを占めるのに次いで、「一人暮らしをしたい」16.4%、「新しい家族をつくってその家族と暮らしたい」8.6%、「入所施設で暮らしたい」4.9%、「グループホーム等の共同生活住居で暮らしたい」4.6%の順となっている。

問4の現状(10ページ)と比較すると、入所施設を希望する割合は1.6ポイント減少し、グループホーム等の共同生活を希望する割合は1.1ポイント増加している。

図表16 将来希望する暮らし方(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び難病医療費等助成利用者は 5 割以上が「現在の家族と一緒に暮らしたい」。
- ・知的障害者は「現在の家族と一緒に暮らしたい」が約 3 割。「グループホーム等の共同生活住居で暮らしたい」20.9%、「入所施設で暮らしたい」17.2%。
- ・精神障害者は「現在の家族と一緒に暮らしたい」35.6%に次いで、「一人暮らしをした

い」25.6%、「新しい家族をつくってその家族と暮らしたい」13.8%。

<現在の暮らし方別にみたポイント>

- ・一人暮らしをしている人は「一人暮らしをしたい」51.6%に次いで、「新しい家族をつくってその家族と暮らしたい」17.6%。
- ・現在は入所施設で生活している人は「入所施設で暮らしたい」46.0%に次いで、「現在の家族と一緒に暮らしたい」16.0%。
- ・グループホーム等で生活している人は「グループホーム等の共同生活住居で暮らしたい」63.0%に次いで、「一人暮らしをしたい」18.5%。

図表17 将来希望する暮らし方(障害別/現在の暮らし方別) (単位:%)

		回答者数(人)	一人暮らしをしたい	現在の家族と一緒に暮らしたい	新しい家族をつくってその家族と暮らしたい	入所施設で暮らしたい	グループホーム等の共同生活住居で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		769	16.4	48.0	8.6	4.9	4.6	1.6	13.0	3.0
障害別	身体障害者	475	16.6	53.7	8.0	3.2	1.3	1.5	13.3	2.5
	知的障害者	134	9.0	29.9	3.7	17.2	20.9	2.2	14.2	3.0
	精神障害者	160	25.6	35.6	13.8	2.5	3.1	1.3	14.4	3.8
	難病医療費等助成利用者	96	11.5	62.5	9.4	1.0	3.1	1.0	9.4	2.1
	その他	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
現在の暮らし方別	一人暮らし	159	51.6	2.5	17.6	3.8	3.1	2.5	17.6	1.3
	家族と生活	501	7.0	70.3	6.0	1.4	1.8	1.0	10.0	2.6
	家族以外の人と生活	18	5.6	11.1	38.9	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0
	入所施設で生活	50	2.0	16.0	2.0	46.0	8.0	2.0	22.0	2.0
	グループホーム等で共同生活	27	18.5	11.1	0.0	7.4	63.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0

(3)現在の居住地と将来希望する居住地

問6 あなたは現在、台東区に住んでいますか。(1つに○)

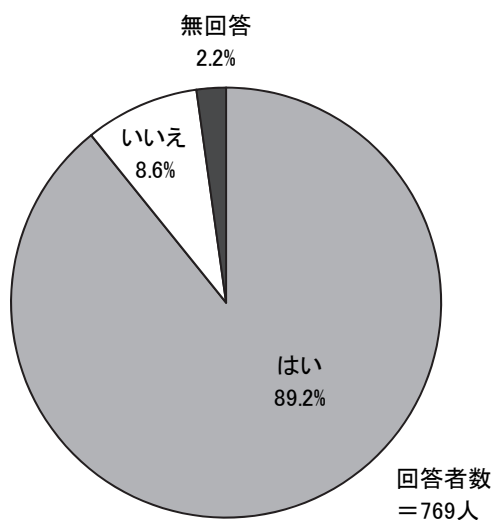
「2. いいえ」に○をした方におたずねします。

問6-1 将来、住みたい地域はどこですか。(1つに○)

①現在の居住地

現在の居住地は、台東区内である人（「はい」と回答）が89.2%と約9割を占め、台東区外の人（「いいえ」と回答）は8.6%となっている。

図表18 現在の居住地(単数回答)

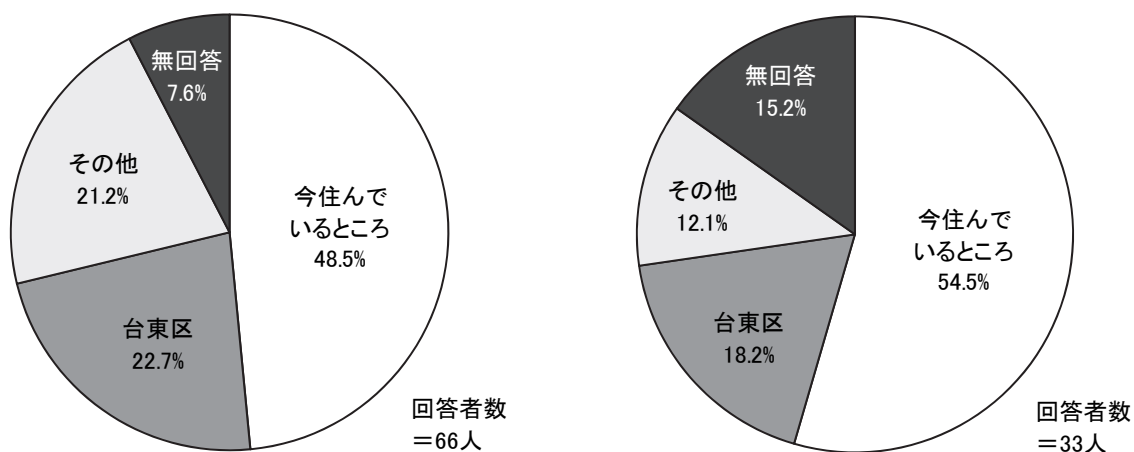


②区外居住者が将来希望する居住地

台東区外に居住している人が将来希望する居住地をみると、「今住んでいるところ」は48.5%である。「台東区」を22.7%が希望しており、前回調査よりも高い割合となっている。

図表19 区外居住者が将来希望する居住地(単数回答)

<前回調査>



<障害別にみたポイント>

- ・知的障害者は「今住んでいるところ」47.5%に次いで、「台東区」23.7%。

図表20 区外居住者が将来希望する居住地(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	今住んでいるところ	台東区	その他	無回答
全体		66	48.5	22.7	21.2	7.6
障害別	身体障害者	12	41.7	8.3	33.3	16.7
	知的障害者	59	47.5	23.7	22.0	6.8
	精神障害者	9	22.2	44.4	33.3	0.0
	難病医療費等助成利用者	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0

3. 日常生活について

(1) 介護の状況

問7 日常生活を送る上で、あなたの生活の介護をしている方はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

介護者がいる方(2～9に○をした方)におたずねします。

問7-1 主に介護が必要となる時間帯はいつですか。(あてはまるものすべてに○)

問7-2 主に介護が必要となるのは、週に何日くらいですか。(1つに○)

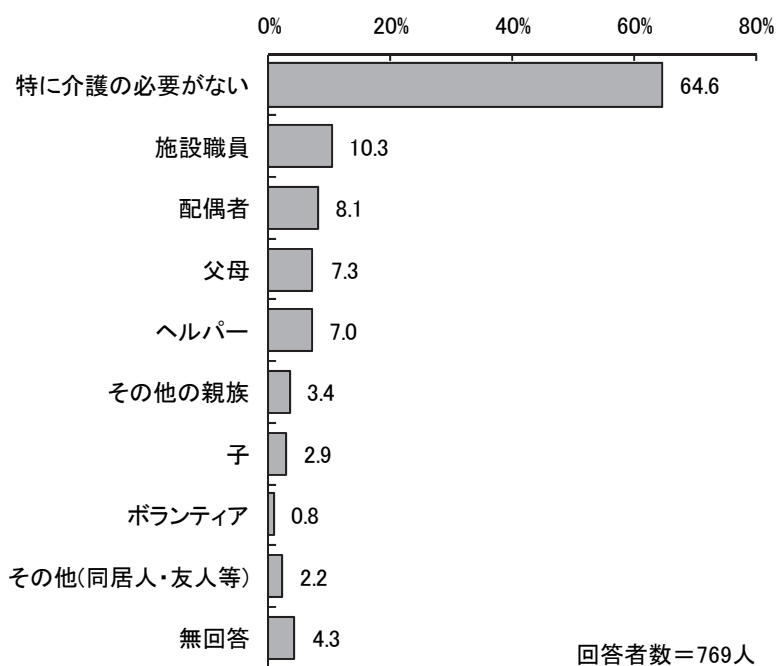
問7-3 介護の内容はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

① 介護の状況

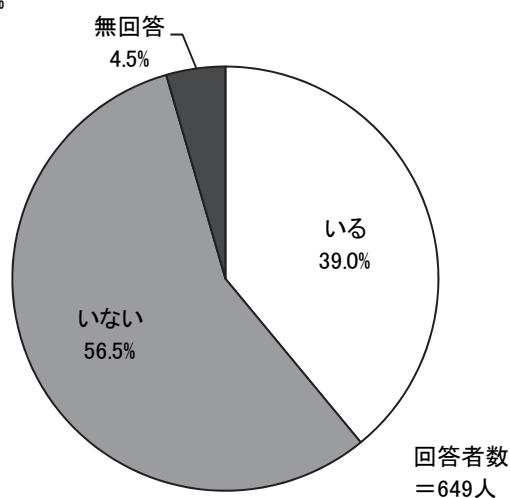
介護の状況について、『介護者がいる』人の割合(100%から「特に介護の必要がない」「無回答」を除いた割合)は31.1%を占める。介護者としては、「施設職員」10.3%がもっとも高く、次いで「配偶者」8.1%、「父母」7.3%の順となっている。

前回調査では介護者が「いる」は39.0%であり、今回調査のほうが低い割合となっている。

図表21 介護の状況(複数回答)



<前回調査>



<障害別にみたポイント>

- ・「特に介護の必要がない」割合は、身体障害者及び精神障害者は6割台、難病医療費等助成利用者は7割台。
- ・知的障害者の「特に介護の必要がない」割合は3割台。介護者は「施設職員」47.0%、「父母」20.1%など。

<身体障害の種類別にみたポイント>

- ・聴覚障害及び内部障害の人は「特に介護の必要がない」が8割台。他の障害種別に比べて介護の必要がない人の割合が高い。

図表22 介護の状況(障害別/身体障害の種類別)

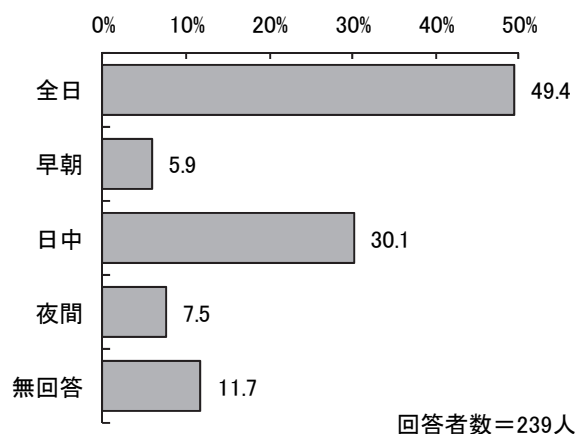
(単位:%)

	回答者数(人)	特に介護の必要がない	施設職員	配偶者	父母	ヘルパー	その他の親族	子	ボランティア	その他(同居人・友人等)	無回答	
全体	769	64.6	10.3	8.1	7.3	7.0	3.4	2.9	0.8	2.2	4.3	
障害別	身体障害者	475	66.3	5.5	10.5	5.7	7.8	2.7	3.4	0.8	2.5	5.7
	視覚障害	46	65.2	6.5	8.7	2.2	8.7	4.3	2.2	2.2	2.2	6.5
	聴覚障害	41	82.9	2.4	2.4	7.3	0.0	4.9	2.4	0.0	2.4	4.9
	肢体不自由	222	54.1	9.5	15.3	9.5	12.6	3.6	4.5	0.9	3.2	5.4
	内部障害	135	80.7	2.2	6.7	3.0	3.7	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4
	その他	38	55.3	7.9	5.3	2.6	5.3	2.6	10.5	0.0	2.6	7.9
	知的障害者	134	35.1	47.0	0.7	20.1	8.2	9.0	2.2	3.0	0.0	0.7
	精神障害者	160	63.8	6.3	6.3	8.8	8.8	3.1	1.3	0.0	3.8	3.1
	難病医療費等助成利用者	96	72.9	4.2	11.5	4.2	5.2	0.0	4.2	1.0	1.0	4.2
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②介護が必要な時間帯

介護が必要な時間帯は、「全日」が49.4%と約半数を占めるのに次いで、「日中」30.1%、「夜間」7.5%、「早朝」5.9%となっている。

図表23 介護が必要な時間帯(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・知的障害者は「全日」が約7割。他の障害に比べて全日介護を要する人の割合が高い。

図表24 介護が必要な時間帯(障害別) (単位:%)

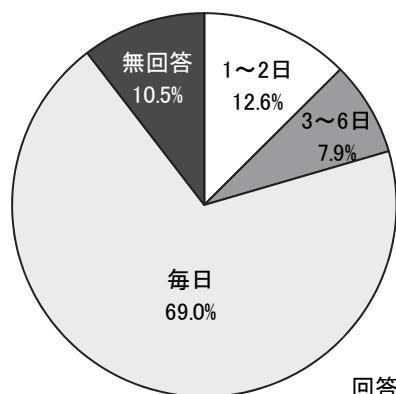
		回答者数(人)	全日	早朝	日中	夜間	無回答
全体		239	49.4	5.9	30.1	7.5	11.7
障害別	身体障害者	133	45.1	6.8	34.6	10.5	9.0
	知的障害者	86	69.8	5.8	11.6	3.5	11.6
	精神障害者	53	35.8	5.7	35.8	7.5	18.9
	難病医療費等助成利用者	22	45.5	4.5	31.8	4.5	13.6
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③介護が必要な日数

1週間に介護が必要な日数は、「毎日」が69.0%を占め、「1～2日」12.6%、「3～6日」7.9%となっている。

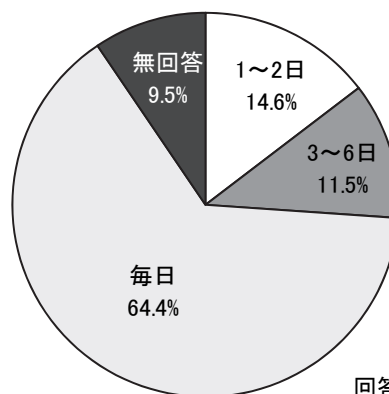
前回調査においても「毎日」は6割台であり、顕著な差はみられない。

図表25 介護が必要な日数(単数回答)



回答者数
=239人

<前回調査>



回答者数
=253人

<障害別にみたポイント>

- ・知的障害者は「毎日」が8割台。他の障害に比べて毎日介護を要する人の割合が高い。

図表26 介護が必要な日数(障害別)

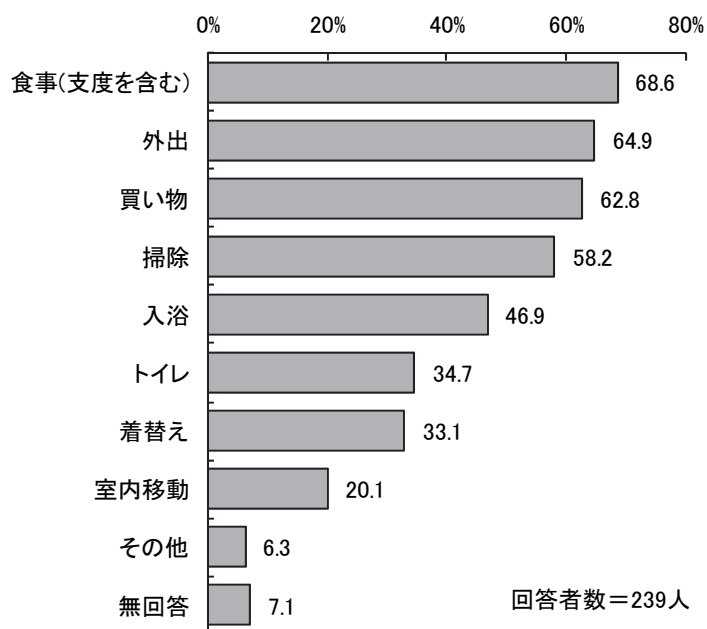
(単位:%)

		回答者数(人)	1 ～ 2 日	3 ～ 6 日	毎日	無 回 答
全体		239	12.6	7.9	69.0	10.5
障害別	身体障害者	133	13.5	9.0	68.4	9.0
	知的障害者	86	3.5	2.3	84.9	9.3
	精神障害者	53	20.8	7.5	56.6	15.1
	難病医療費等助成利用者	22	22.7	9.1	54.5	13.6
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0

④介護の内容

介護の内容は、「食事（支度を含む）」68.6%、「外出」64.9%、「買い物」62.8%、「掃除」58.2%、「入浴」46.9%の順に割合が高い。

図表27 介護の内容(複数回答)



図表28 介護の内容(障害別)

(単位: %)

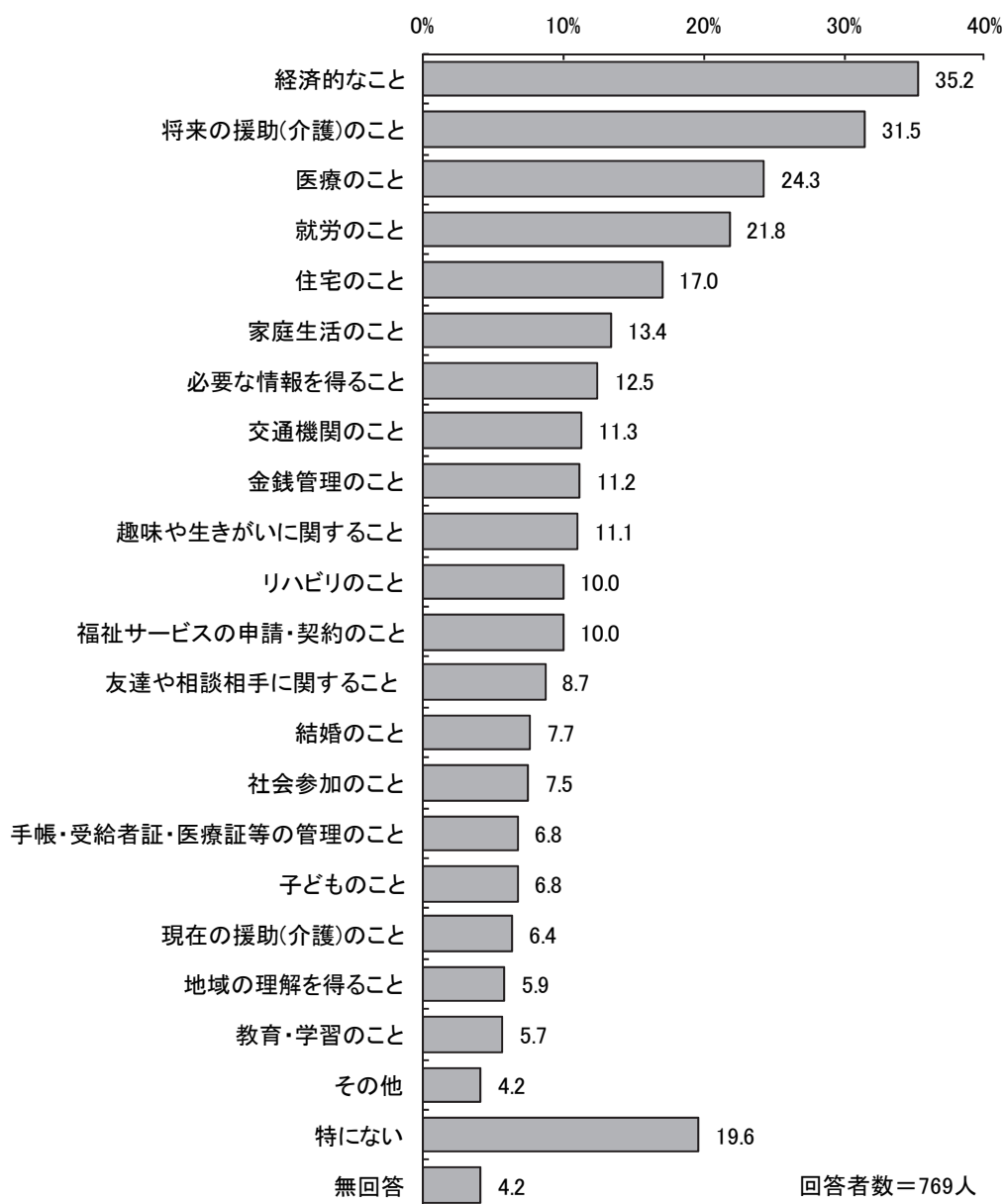
		回答者数(人)	食事(支度を含む)	外出	買い物	掃除	入浴	トイレ	着替え	室内移動	その他	無回答
全体		239	68.6	64.9	62.8	58.2	46.9	34.7	33.1	20.1	6.3	7.1
障害別	身体障害者	133	66.2	61.7	62.4	57.1	48.9	36.1	36.1	28.6	4.5	6.0
	知的障害者	86	83.7	80.2	65.1	61.6	62.8	55.8	51.2	26.7	4.7	7.0
	精神障害者	53	58.5	50.9	50.9	52.8	26.4	13.2	15.1	11.3	11.3	13.2
	難病医療費等助成利用者	22	59.1	63.6	63.6	72.7	50.0	36.4	36.4	27.3	4.5	9.1
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2)生活の中での悩みごと

問8 生活の中で悩みごとや困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

生活の中での悩みごとは、「経済的なこと」35.2%、「将来の援助(介護)のこと」31.5%が上位2位であり、3割以上からあげられている。次いで、「医療のこと」24.3%、「就労のこと」21.8%、「住宅のこと」17.0%の順で続いている。

図表29 生活の中での悩みごと(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・精神障害者は、他の障害に比べて『悩みごとがある』人の割合（100%から「特にない」「無回答」を除いた割合）が高い。
- ・知的障害者は「将来の援助（介護）のこと」「金銭管理のこと」「福祉サービスの申請・契約のこと」「手帳・受給者証・医療証等の管理のこと」などをあげた人の割合が、それぞれ他の障害に比べて高い。
- ・精神障害者は「経済的なこと」「就労のこと」「趣味や生きがいに関すること」などをあげた人の割合が、それぞれ他の障害に比べて高い。
- ・難病医療費等助成利用者は「医療のこと」をあげた人の割合が、他の障害に比べて高い。

図表30 生活の中での悩みごと(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	経済的なこと	将来の援助(介護)のこと	医療のこと	就労のこと	住宅のこと	家庭生活のこと	必要な情報を得ること	交通機関のこと	金銭管理のこと	趣味や生きがいに関すること	リハビリのこと	福祉サービスの申請・契約のこと
全体		769	35.2	31.5	24.3	21.8	17.0	13.4	12.5	11.3	11.2	11.1	10.0	10.0
障害別	身体障害者	475	34.3	32.6	23.6	18.5	19.2	11.8	13.3	13.3	6.5	7.6	12.4	9.3
	知的障害者	134	22.4	36.6	25.4	18.7	11.2	11.9	12.7	10.4	24.6	10.4	7.5	14.9
	精神障害者	160	48.1	28.8	26.3	34.4	14.4	21.3	13.8	7.5	20.6	20.0	7.5	13.8
	難病医療費等助成利用者	96	40.6	30.2	31.3	21.9	17.7	10.4	8.3	10.4	6.3	10.4	10.4	5.2
	その他	4	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

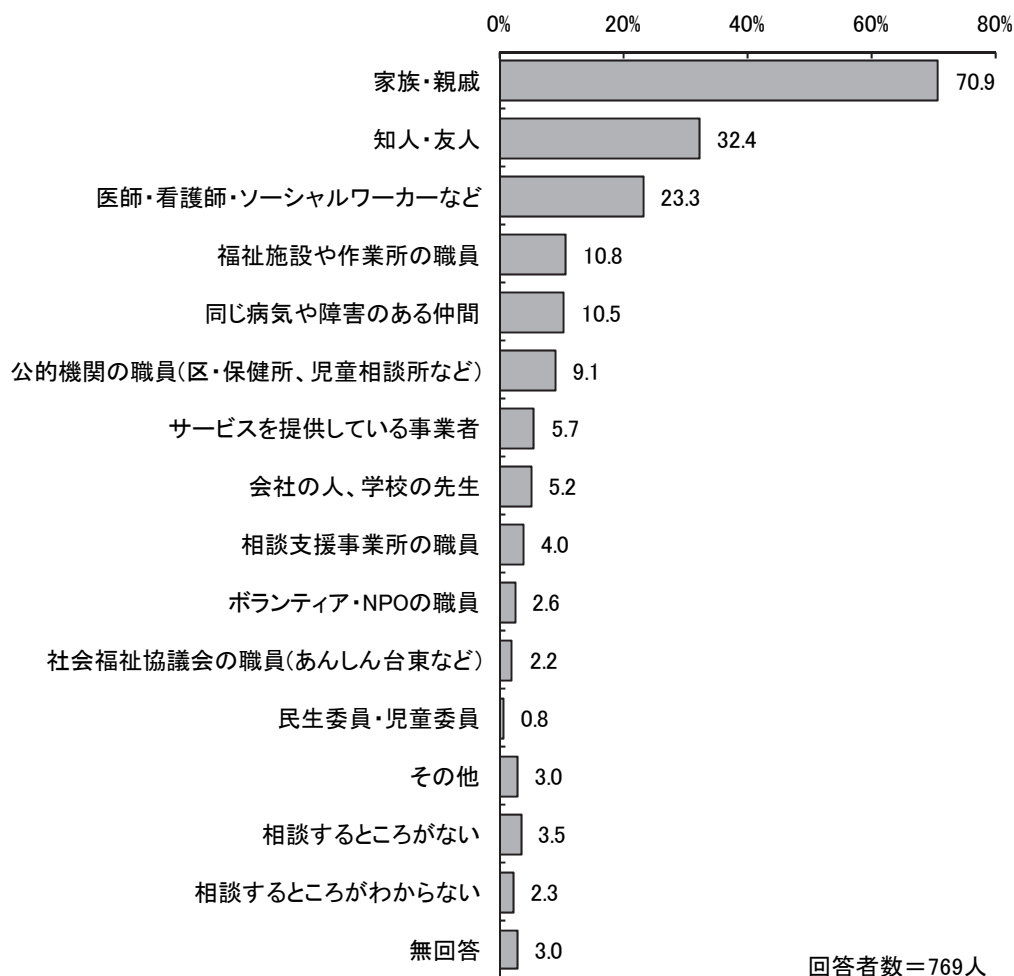
		回答者数(人)	友達や相談相手に関すること	結婚のこと	社会参加のこと	手帳・受給者証・医療証等の管理のこと	子どものこと	現在の援助(介護)のこと	地域の理解を得ること	教育・学習のこと	その他	特にない	無回答
全体		769	8.7	7.7	7.5	6.8	6.8	6.4	5.9	5.7	4.2	19.6	4.2
障害別	身体障害者	475	4.8	5.9	5.9	5.1	7.8	5.7	4.6	3.4	2.5	21.7	3.8
	知的障害者	134	12.7	7.5	11.9	16.4	3.0	10.4	12.7	13.4	11.2	14.9	8.2
	精神障害者	160	17.5	13.8	10.6	8.1	8.1	7.5	8.1	5.0	5.0	10.6	2.5
	難病医療費等助成利用者	96	6.3	9.4	6.3	3.1	8.3	5.2	4.2	6.3	2.1	22.9	2.1
	その他	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0

(3) 悩みごとの相談先

問9 悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

悩みごとの相談先は、「家族・親戚」70.9%に次いで、「知人・友人」32.4%、「医師・看護師・ソーシャルワーカーなど」23.3%、「福祉施設や作業所の職員」10.8%、「同じ病気や障害のある仲間」10.5%の順となっている。「相談するところがない」は3.5%、「相談するところがない」は2.3%であった。

図表31 悩みごとの相談先(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・ どの障害の人においても「家族・親戚」が相談先の第1位。
- ・ 第2位は、身体障害者及び難病医療費等助成利用者は「知人・友人」、知的障害者は「福祉施設や作業所の職員」、精神障害者は「医師・看護師・ソーシャルワーカーなど」。

図表32 悩みごとの相談先(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	家族・親戚	知人・友人	医師・看護師・ソーシャルワーカーなど	福祉施設や作業所の職員	仲間 同じ病気や障害のある	公的機関の職員(区・保健所、児童相談所など)	事業者 サービスを提供している	会社の人、学校の先生
全体		769	70.9	32.4	23.3	10.8	10.5	9.1	5.7	5.2
障害別	身体障害者	475	73.7	36.6	20.6	4.0	11.2	8.0	5.7	4.0
	知的障害者	134	56.7	11.2	14.9	44.8	9.7	11.2	11.2	7.5
	精神障害者	160	60.6	28.8	40.0	11.3	9.4	13.8	6.3	6.3
	難病医療費等助成利用者	96	82.3	35.4	22.9	5.2	11.5	3.1	2.1	7.3
	その他	4	100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0

		回答者数(人)	相談支援事業所の職員	ボランティア・NPOの職員 (あんしん台東など)	民生委員・児童委員	その他	相談するところがない	相談するところがない わからない	無回答	
全体		769	4.0	2.6	2.2	0.8	3.0	3.5	2.3	3.0
障害別	身体障害者	475	2.5	1.7	2.5	0.6	2.7	3.6	2.1	1.9
	知的障害者	134	9.0	6.7	2.2	2.2	3.0	0.0	4.5	9.0
	精神障害者	160	5.0	4.4	3.8	0.6	2.5	5.6	3.8	1.9
	難病医療費等助成利用者	96	4.2	3.1	1.0	0.0	3.1	4.2	1.0	3.1
	その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

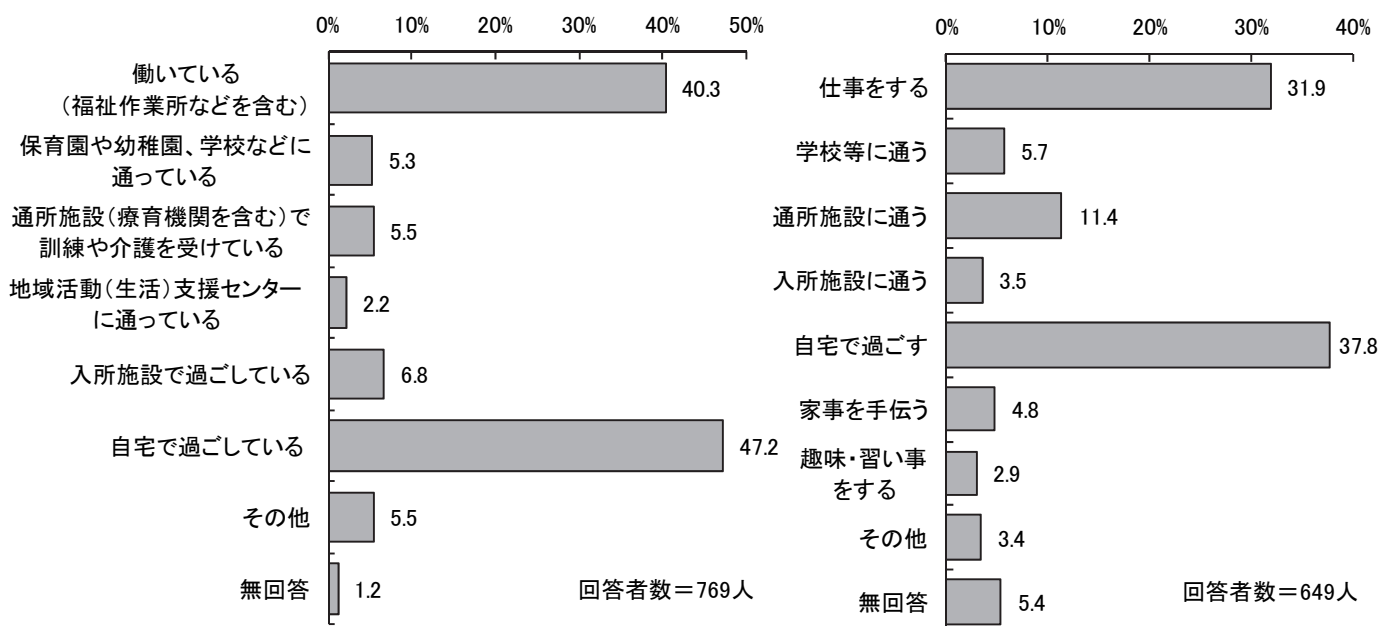
(4) 現在の日中の過ごし方

問10 あなたは現在、平日(月曜日から金曜日)の日中は、主にどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の日中の過ごし方は、「自宅で過ごしている」がもっとも高く 47.2%と半数近い。次いで「働いている(福祉作業所などを含む)」40.3%が続いている。このほか「入所施設で過ごしている」6.8%、「通所施設(療育機関を含む)で訓練や介護を受けている」5.5%、「保育園や幼稚園、学校などに通っている」5.3%、「地域活動(生活)支援センターに通っている」2.2%となっている。

なお、前回調査は選択肢が異なっているが、「自宅で過ごす」37.8%に次いで、「仕事をする」31.9%となっている(ただし、「仕事をする」は福祉作業所などで働く場合は含まない数値である)。

図表33 現在の日中の過ごし方(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び精神障害者は「自宅で過ごしている」が5割台、「働いている（福祉作業所などを含む）」が3割台。
- ・難病医療費等助成利用者は「働いている（福祉作業所などを含む）」53.1%、「自宅で過ごしている」45.8%。他の障害に比べて働いている人の割合が高い。
- ・知的障害者は「働いている（福祉作業所などを含む）」38.8%に次いで、「入所施設で過ごしている」が31.3%。

<身体障害の種類別にみたポイント>

- ・聴覚障害の人は「働いている（福祉作業所などを含む）」が5割を超え、他の障害種別に比べて働いている人の割合が高い。

図表34 現在の日中の過ごし方(障害別/身体障害の種類別) (単位:%)

	回答者数(人)	働いている(福祉作業所などを含む)	保育園や幼稚園、学校などに通っている	通所施設(療育機関を含む)で訓練や介護を受けている	地域活動(生活)支援センターに通っている	入所施設で過ごしている	自宅で過ごしている	その他	無回答	
全体	769	40.3	5.3	5.5	2.2	6.8	47.2	5.5	1.2	
障害別	身体障害者	475	39.8	3.4	5.3	1.3	3.2	53.9	6.3	1.5
	視覚障害	46	43.5	2.2	2.2	2.2	4.3	58.7	10.9	0.0
	聴覚障害	41	58.5	4.9	0.0	0.0	0.0	36.6	12.2	2.4
	肢体不自由	222	33.3	4.5	8.6	2.3	5.4	55.0	4.1	1.4
	内部障害	135	48.1	1.5	0.7	0.0	0.7	53.3	6.7	1.5
	その他	38	21.1	2.6	2.6	2.6	7.9	57.9	10.5	5.3
	知的障害者	134	38.8	12.7	11.2	2.2	31.3	8.2	2.2	0.0
	精神障害者	160	34.4	2.5	4.4	5.6	4.4	58.8	5.6	0.6
	難病医療費等助成利用者	96	53.1	2.1	4.2	2.1	1.0	45.8	5.2	1.0
	その他	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 就労状況

「1. 働いている」に○をした方におたずねします。

問10-1 どのような働き方をしていますか。(1つに○)

問10-2 働いているのは、週に何時間くらいですか。(1つに○)

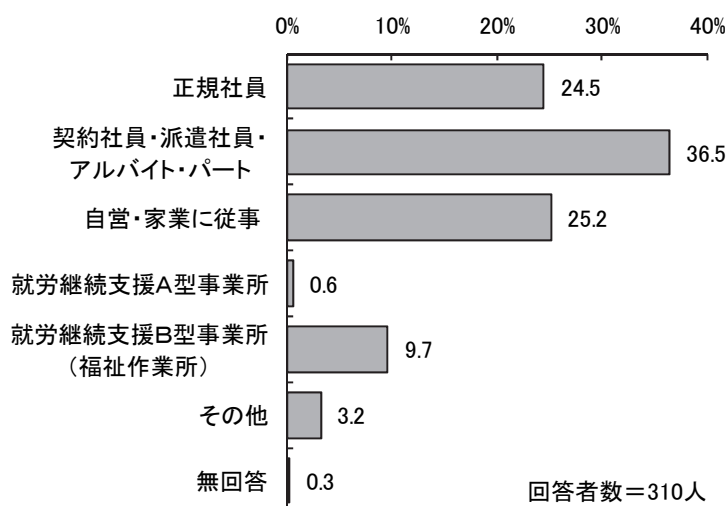
問10-3 ひと月あたりの就労による収入は、平均どのくらいですか。(1つに○)

①働き方

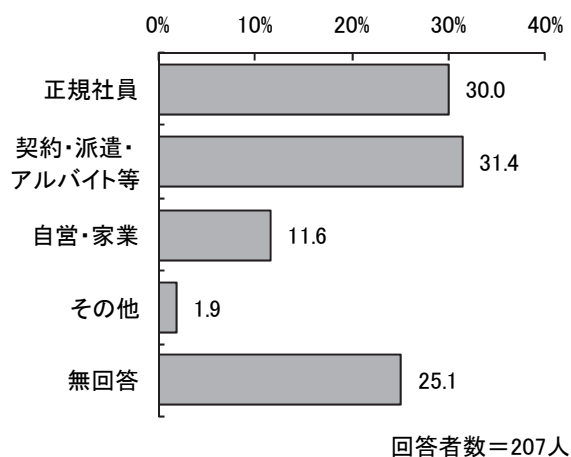
働いている人の働き方は、「契約社員・派遣社員・アルバイト・パート」36.5%、「自営・家業に従事」25.2%、「正規社員」24.5%の順であり、これらをあわせた一般就労者の割合が86.2%を占める。「就労継続支援B型事業所(福祉作業所)」は9.7%、「就労継続支援A型事業所」は0.6%となっている。

前回調査の選択肢には就労継続支援事業所は含まれないが、今回調査のほう「自営・家業」従事者の割合が高くなっている。

図表35 働き方(単数回答)



<前回調査>



<障害別にみたポイント>

- ・一般就労者の割合（「正規社員」＋「契約社員・派遣社員・アルバイト・パート」＋「自営・家業に従事」）は、身体障害者と難病医療費等助成利用者は9割を超え、知的障害者は57.7%、精神障害者72.7%である。
- ・知的障害者及び精神障害者は「契約社員・派遣社員・アルバイト・パート」が4割台で、「就労継続支援B型事業所（福祉作業所）」が知的障害者36.5%、精神障害者21.8%。

図表36 働き方(障害別)

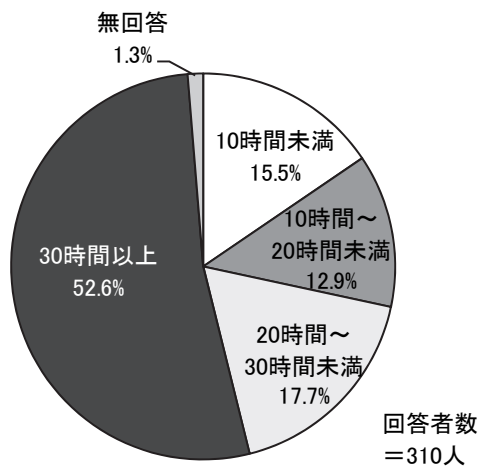
(単位:%)

		回答者数(人)	正規社員	契約社員・派遣社員・アルバイト・パート	自営・家業に従事	業所 就労継続支援A型事業所	就労継続支援B型事業所(福祉作業所)	その他	無回答
全体		310	24.5	36.5	25.2	0.6	9.7	3.2	0.3
障害別	身体障害者	189	29.6	33.9	29.6	0.0	3.7	2.6	0.5
	知的障害者	52	9.6	40.4	7.7	0.0	36.5	5.8	0.0
	精神障害者	55	14.5	41.8	16.4	3.6	21.8	1.8	0.0
	難病医療費等助成利用者	51	41.2	31.4	23.5	0.0	0.0	3.9	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②1 週間の就労時間

1 週間の就労時間は、「30 時間以上」が 52.6%と過半数を占める。次いで「20 時間～30 時間未満」17.7%、「10 時間未満」15.5%、「10 時間～20 時間未満」12.9%となっている。

図表37 1 週間の就労時間(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び難病医療費等助成利用者は「30 時間以上」が過半数を占め、他の障害に比べて就労時間が長い人の割合が高い。
- ・知的障害者は「30 時間以上」42.3%に次いで「20 時間～30 時間未満」が 30.8%。
- ・精神障害者は「30 時間以上」45.5%に次いで「10 時間～20 時間未満」が 21.8%。

図表38 1 週間の就労時間(障害別) (単位:%)

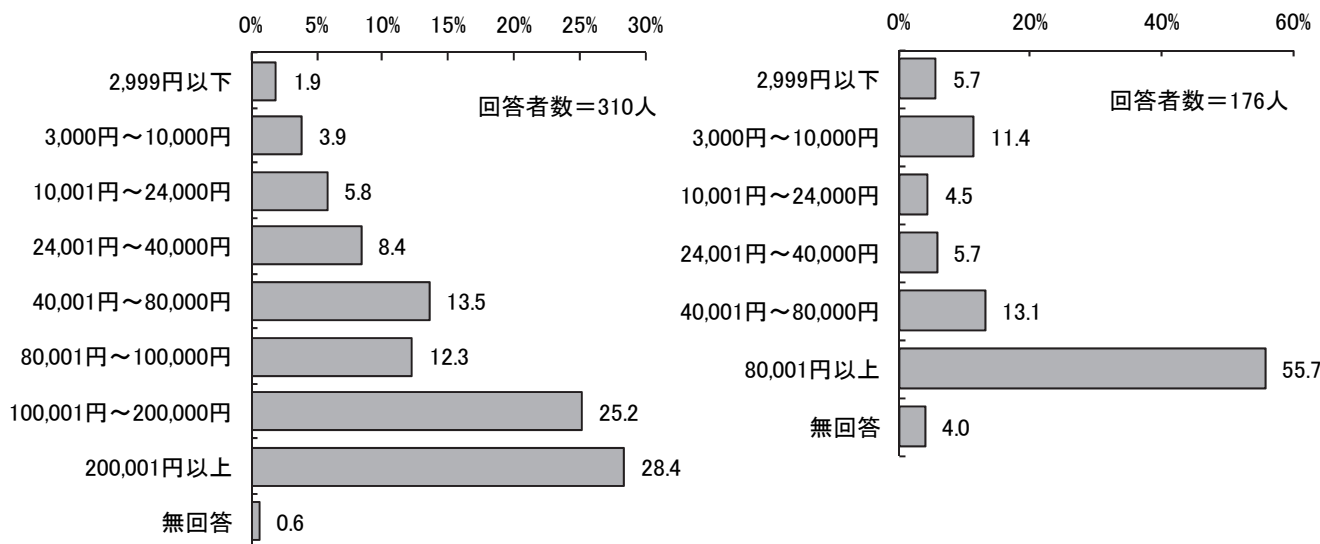
		回答者数(人)	10時間未満	10時間～20時間未満	20時間～30時間未満	30時間以上	無回答
全体		310	15.5	12.9	17.7	52.6	1.3
障害別	身体障害者	189	13.8	12.2	14.3	58.2	1.6
	知的障害者	52	15.4	11.5	30.8	42.3	0.0
	精神障害者	55	20.0	21.8	12.7	45.5	0.0
	難病医療費等助成利用者	51	7.8	11.8	11.8	64.7	3.9
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③ひと月あたりの平均収入額

ひと月あたりの平均収入額は、「200,001円以上」28.4%、「100,001円～200,000円」25.2%の順であり、これらをあわせた『100,001円以上』が53.6%と過半数を占める。次いで、「40,001円～80,000円」13.5%、「80,001円～100,000円」12.3%となっている。

『80,001円以上』の割合は65.9%であり、前回調査よりも高い割合となっている。

図表39 ひと月あたりの平均収入額(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び難病医療費等助成利用者は「200,001円以上」がもっとも高い。
- ・『100,001円以上』の割合は、身体障害者の63.0%、難病医療費等助成利用者の76.5%に対し、知的障害者は21.2%、精神障害者は38.2%。

<働き方別にみたポイント>

- ・就労継続支援B型事業所で働いている人の平均収入額は、「10,001円～24,000円」が40.0%を占める。

図表40 ひと月あたりの平均収入額(障害別/働き方別)

(単位:%)

		回答者数(人)	2,999円以下	10,000円以下	30,000円以下	40,000円以下	50,000円以下	60,000円以下	70,000円以下	80,000円以下	90,000円以下	100,000円以上	無回答
全体		310	1.9	3.9	5.8	8.4	13.5	12.3	25.2	28.4		0.6	
障害別	身体障害者	189	1.1	2.6	3.2	5.3	12.7	11.1	27.0	36.0		1.1	
	知的障害者	52	1.9	3.8	21.2	19.2	13.5	19.2	21.2	0.0		0.0	
	精神障害者	55	3.6	12.7	9.1	10.9	16.4	9.1	20.0	18.2		0.0	
	難病医療費等助成利用者	51	2.0	0.0	0.0	5.9	7.8	7.8	27.5	49.0		0.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
働き方別	正規社員	76	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	3.9	25.0	67.1		1.3	
	契約社員・派遣社員・アルバイト・パート	113	0.0	0.9	3.5	8.0	17.7	21.2	38.1	10.6		0.0	
	自営・家業に従事	78	2.6	0.0	2.6	11.5	23.1	14.1	20.5	25.6		0.0	
	就労継続支援A型事業所	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	就労継続支援B型事業所	30	3.3	23.3	40.0	23.3	10.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	その他	10	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		0.0	

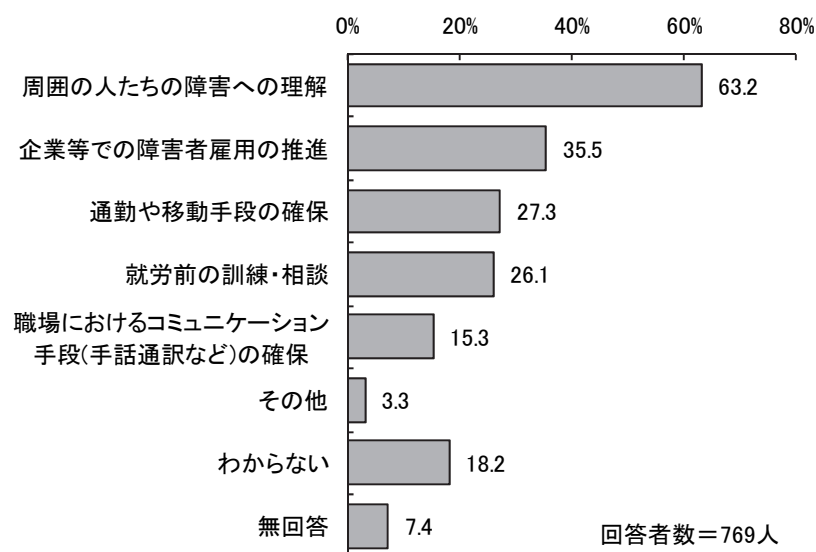
(6)働きやすい環境にするために必要なこと

問11 働きやすい環境にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

働きやすい環境にするために必要なこととしては、「周囲の人たちの障害への理解」63.2%がもっとも高い。次いで、「企業等での障害者雇用の推進」35.5%、「通勤や移動手段の確保」27.3%の順となっている。

図表41 働きやすい環境にするために必要なこと(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・ どの障害の人も「周囲の人たちの障害への理解」が第1位。
- ・ 第2位は、身体障害者及び難病医療費等助成利用者は「企業等での障害者雇用の推進」。知的障害者と精神障害者は「就労前の訓練・相談」。

<身体障害の種類別にみたポイント>

- ・ 視覚障害及び肢体不自由の人は「通勤や移動手段の確保」、聴覚障害の人は「周囲の人たちの障害への理解」「職場におけるコミュニケーション手段（手話通訳など）の確保」を希望する割合が、それぞれ他の障害種別に比べて高い。

図表42 働きやすい環境にするために必要なこと(障害別/身体障害の種類別)

(単位:%)

	回答者数(人)	周囲の人たちの障害への理解	企業等での障害者雇用の推進	通勤や移動手段の確保	就労前の訓練・相談	職場におけるコミュニケーション手段(手話通訳など)の確保	その他	わからない	無回答	
全体	769	63.2	35.5	27.3	26.1	15.3	3.3	18.2	7.4	
障害別	身体障害者	475	62.9	38.7	30.7	22.7	15.4	3.8	15.8	8.6
	視覚障害	46	65.2	37.0	34.8	28.3	15.2	2.2	17.4	13.0
	聴覚障害	41	78.0	41.5	4.9	14.6	41.5	2.4	14.6	0.0
	肢体不自由	222	63.1	39.6	40.1	25.7	14.0	2.3	16.2	8.6
	内部障害	135	57.8	40.7	21.5	17.0	11.9	6.7	10.4	11.9
	その他	38	50.0	26.3	26.3	23.7	15.8	5.3	26.3	18.4
	知的障害者	134	64.2	33.6	28.4	36.6	22.4	0.0	23.9	6.7
	精神障害者	160	56.9	26.3	13.8	30.6	9.4	2.5	25.0	8.1
	難病医療費等助成利用者	96	61.5	33.3	30.2	21.9	14.6	4.2	14.6	10.4
	その他	4	100.0	75.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(7) 希望する日中の過ごし方

問12 今後、平日(月曜日から金曜日)の日中は、主にどのように過ごしたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

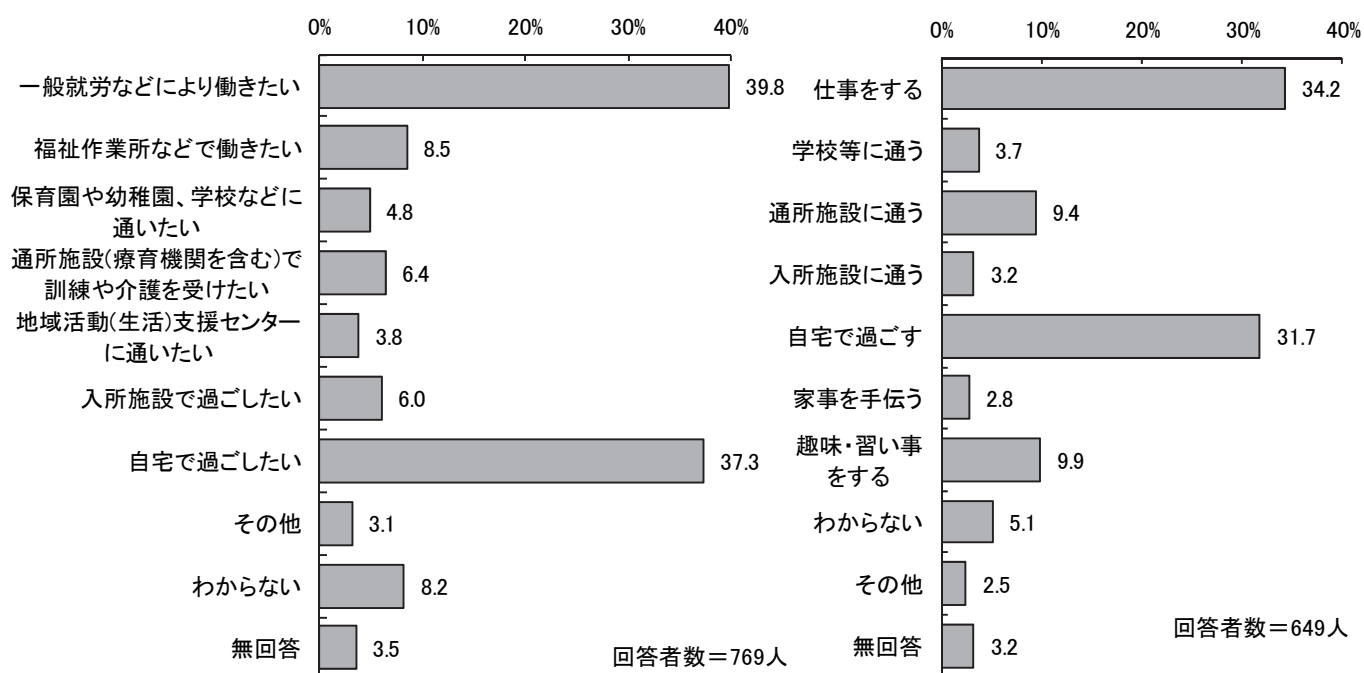
希望する日中の過ごし方としては、「一般就労などにより働きたい」39.8%、「福祉作業所などで働きたい」8.5%となっている。このどちらかに○をした、『働きたい』との意向を示した人の割合は46.0%であり(複数回答であるため合算値とは一致しない)、問10の現状40.3%(24ページ)を5.7ポイント上回っている。

「自宅で過ごしたい」は37.3%であり、現状を9.9ポイント下回る結果となった。

なお、前回調査は選択肢が異なっているが、「仕事をする」34.2%に次いで「自宅で過ごす」31.7%の順となっている。

図表43 希望する日中の過ごし方(複数回答)

<前回調査>



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者は「自宅で過ごしたい」、知的障害者、精神障害者及び難病医療費等助成利用者は「一般就労などにより働きたい」との意向がそれぞれもっとも高い。
- ・『働きたい』と回答した人の割合は、知的障害者の44.0%、精神障害者の52.5%。現状（25ページ）をそれぞれ5.2ポイント、18.1ポイント上回った。
- ・知的障害者は「入所施設で過ごしたい」が22.4%。現状と比較すると8.9ポイント低い。

<身体障害の種類別にみたポイント>

- ・視覚障害の人は「自宅で過ごしたい」、聴覚障害の人は「一般就労などにより働きたい」との意向が、それぞれ他の障害種別に比べて高い。

図表44 希望する日中の過ごし方(障害別/身体障害の種類別)

(単位:%)

	回答者数(人)	一般就労などにより働きたい	福祉作業所などで働きたい	保育園や幼稚園、学校などに通いたい	通所施設(療育機関を含む)で訓練や介護を受けたい	地域活動(生活)支援センターに通いたい	入所施設で過ごしたい	自宅で過ごしたい	その他	わからない	無回答	『働きたい』	
全体	769	39.8	8.5	4.8	6.4	3.8	6.0	37.3	3.1	8.2	3.5	46.0	
障害別	身体障害者	475	38.9	5.5	2.5	4.8	3.2	3.2	42.5	3.2	7.6	4.6	42.7
	視覚障害	46	37.0	6.5	0.0	0.0	0.0	2.2	56.5	2.2	6.5	2.2	41.3
	聴覚障害	41	53.7	2.4	4.9	0.0	4.9	0.0	36.6	9.8	2.4	4.9	56.1
	肢体不自由	222	34.7	6.8	2.7	9.0	4.5	6.3	42.3	2.3	7.7	4.5	39.6
	内部障害	135	44.4	3.7	2.2	0.7	1.5	1.5	43.0	4.4	4.4	5.9	46.7
	その他	38	21.1	7.9	2.6	0.0	2.6	5.3	34.2	0.0	26.3	7.9	26.3
	知的障害者	134	23.9	22.4	11.2	17.2	6.7	22.4	14.9	0.7	9.7	3.0	44.0
	精神障害者	160	46.9	9.4	4.4	6.3	3.8	5.0	36.9	3.1	10.6	1.9	52.5
	難病医療費等助成利用者	96	52.1	4.2	3.1	4.2	5.2	4.2	38.5	4.2	6.3	1.0	55.2
	その他	4	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

※『働きたい』は、「一般就労などにより働きたい」「福祉作業所などで働きたい」のどちらかに○をした人の割合(複数回答であるため合算値とは一致しない)

<現状の日中の過ごし方別にみたポイント>

- ・『働きたい』との意向を示している人は、現在働いている人が8割。地域活動支援センターに通っている人及び保育園や幼稚園、学校などに通っている人は3割台、自宅で過ごしている人及び通所施設で訓練や介護を受けている人は2割台。

図表45 希望する日中の過ごし方(現在の日中の過ごし方別)

(単位:%)

		回答者数(人)	一般就労などにより働きたい	福祉作業所などで働きたい	保育園や幼稚園、学校などに通いたい	通所施設(療育機関を含む)で訓練や介護を受けたい	地域活動(生活)支援センターに通いたい	入所施設で過ごしたい	自宅で過ごしたい	その他	わからない	無回答	『働きたい』
全体		769	39.8	8.5	4.8	6.4	3.8	6.0	37.3	3.1	8.2	3.5	46.0
現在の日中の過ごし方別	働いている	310	72.3	10.0	1.0	1.6	2.6	1.3	22.9	1.0	4.5	1.9	80.0
	保育園や幼稚園、学校などに通っている	41	22.0	14.6	73.2	19.5	7.3	7.3	9.8	0.0	2.4	0.0	31.7
	通所施設で訓練や介護を受けている	42	19.0	14.3	9.5	69.0	16.7	4.8	23.8	2.4	2.4	4.8	28.6
	地域活動支援センターに通っている	17	23.5	29.4	5.9	35.3	35.3	11.8	29.4	0.0	11.8	0.0	35.3
	入所施設で過ごしている	52	1.9	9.6	0.0	7.7	3.8	61.5	9.6	1.9	19.2	3.8	11.5
	自宅で過ごしている	363	26.7	5.2	1.7	5.0	3.3	2.2	64.2	3.6	8.0	4.1	29.5
	その他	42	16.7	0.0	2.4	0.0	4.8	0.0	50.0	21.4	21.4	4.8	16.7

※『働きたい』は、「一般就労などにより働きたい」「福祉作業所などで働きたい」のどちらかに○をした人の割合(複数回答であるため合算値とは一致しない)

4. 障害福祉サービスについて

(1) 障害福祉サービスの利用状況

問13 上記【資料の調査票(82ページ)を参照】の中で、あなたが現在、利用しているサービスはありますか。(1つに○)

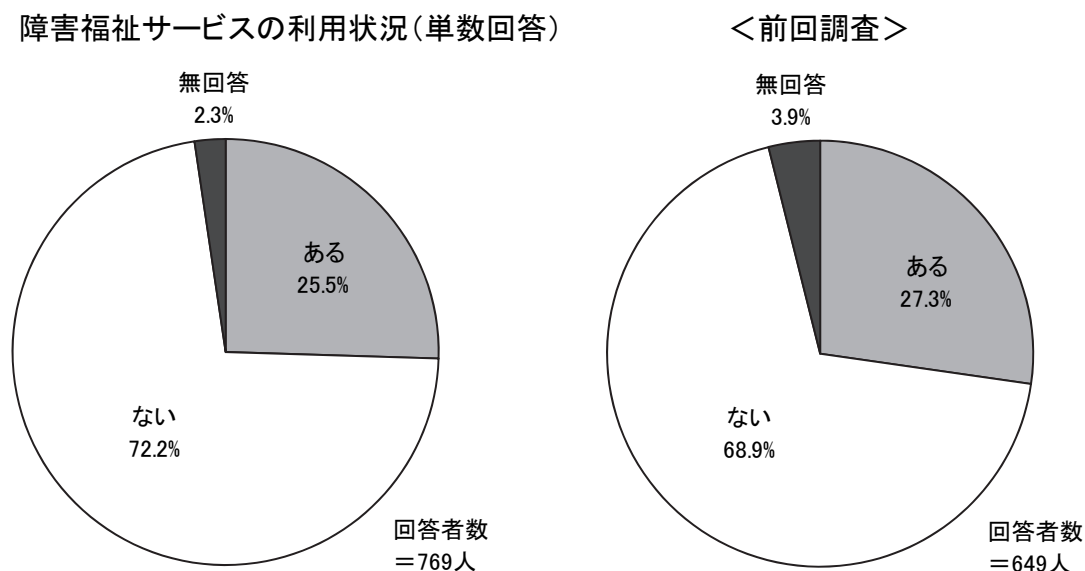
「2. ない」に○をした方におたずねします。

問13-1 利用していない理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

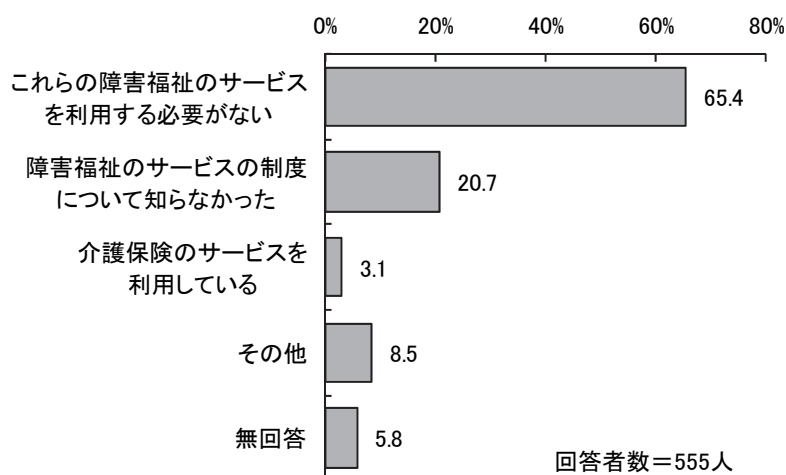
障害福祉サービスの利用状況について、「ある」は25.5%と、おおよそ4人に1人が利用していると回答しており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「ない」(72.2%)と回答した人のサービスを利用していない理由としては、「これらの障害福祉のサービスを利用する必要がない」が65.4%、次いで「障害福祉のサービスの制度について知らなかった」20.7%となっている。

図表46 障害福祉サービスの利用状況(単数回答)



図表47 利用していない理由(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・利用している（「ある」）人の割合は、身体障害者は 17.9%、知的障害者は 75.4%、精神障害者は 25.0%、難病医療費等助成利用者は 10.4%。

<身体障害の種類別にみたポイント>

- ・利用している（「ある」）人の割合は、視覚障害及び肢体不自由の人は 2 割台、聴覚障害及び内部障害の人は 1 割未満。

図表48 障害福祉サービスの利用状況(障害別/身体障害の種類別)

(単位:%)

		回答者数(人)	ある	ない	無回答
全 体		769	25.5	72.2	2.3
障害別	身体障害者	475	17.9	79.8	2.3
	視覚障害	46	26.1	73.9	0.0
	聴覚障害	41	9.8	85.4	4.9
	肢体不自由	222	27.9	70.7	1.4
	内部障害	135	7.4	90.4	2.2
	その他	38	13.2	78.9	7.9
	知的障害者	134	75.4	24.6	0.0
	精神障害者	160	25.0	73.1	1.9
	難病医療費等助成利用者	96	10.4	86.5	3.1
	その他	4	100.0	0.0	0.0

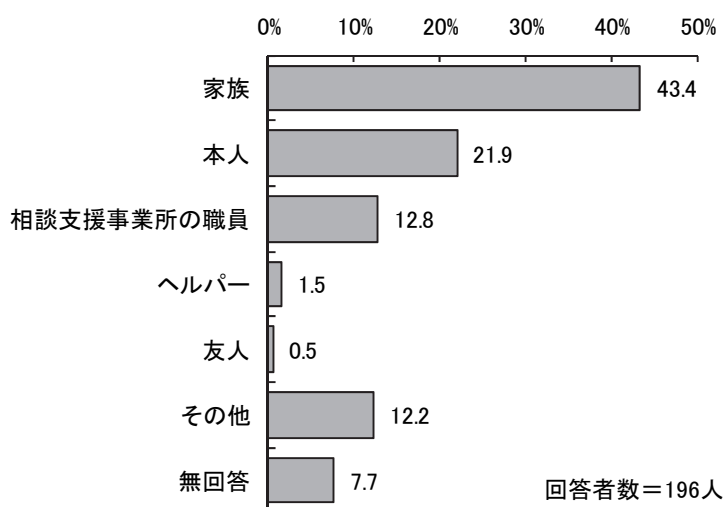
(2) サービスの申請手続き等を行っている人

問14～21は、問13で「1. ある」に○をした方におたずねします。

問14 サービスを利用するにあたって、申請手続きや事業者との連絡・調整を行っているのは主にどなたですか。(1つに○)

サービスの申請手続き等を行っている人は、「家族」43.4%、「本人」21.9%、「相談支援事業所の職員」12.8%の順となっている。「その他」12.2%は、「施設の職員」などとなっている。

図表49 サービスの申請手続き等を行っている人(単数回答)



図表50 サービスの申請手続き等を行っている人(障害別)

(単位:%)

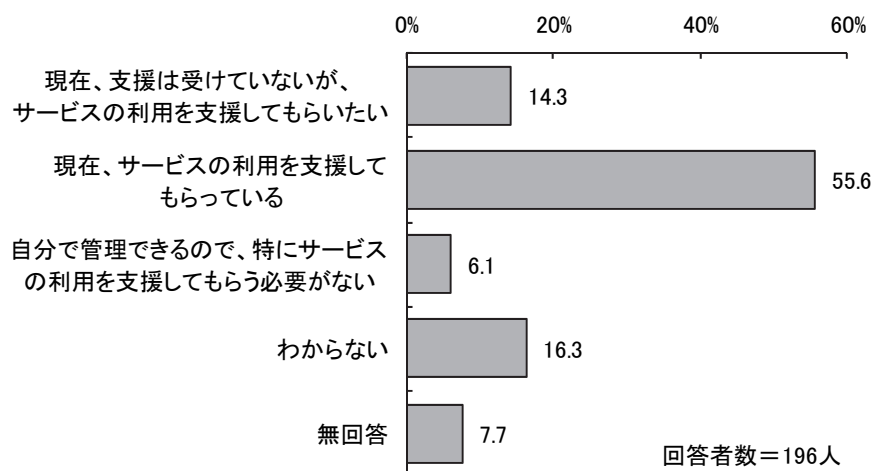
		回答者数(人)	家族	本人	職員 相談支援事業所の	ヘルパー	友人	その他	無回答
全体		196	43.4	21.9	12.8	1.5	0.5	12.2	7.7
障害別	身体障害者	85	38.8	31.8	11.8	2.4	1.2	4.7	9.4
	知的障害者	101	56.4	3.0	11.9	0.0	0.0	20.8	7.9
	精神障害者	40	30.0	40.0	12.5	2.5	0.0	10.0	5.0
	難病医療費等助成利用者	10	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) サービス利用支援(計画相談支援)の利用状況と意向

問15 障害福祉のサービスの利用を支援するサービス(情報の提供、申請のサポート、利用計画の作成、事業者との連絡・調整等)を相談支援事業者が提供することができます。あなたの状況は、次のうちどれですか。(1つに○)

サービス利用支援(計画相談支援)の利用状況と意向をみると、「現在、サービスの利用を支援してもらっている」が55.6%と半数強を占めている。「現在、支援は受けていないが、サービスの利用を支援してもらいたい」は14.3%、「自分で管理できるので、特にサービスの利用を支援してもらわない必要はない」は6.1%であった。

図表51 サービス利用支援(計画相談支援)の利用状況と意向(単数回答)



図表52 サービス利用支援(計画相談支援)の利用状況と意向(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	現在、支援は受けていないが、サービスの利用を支援してもらいたい	現在、サービスの利用を支援してもらっている	自分で管理できるので、特にサービスの利用を支援してもらわない必要はない	わからない	無回答
全体		196	14.3	55.6	6.1	16.3	7.7
障害別	身体障害者	85	11.8	57.6	7.1	12.9	10.6
	知的障害者	101	14.9	53.5	4.0	19.8	7.9
	精神障害者	40	12.5	52.5	5.0	27.5	2.5
	難病医療費等助成利用者	10	10.0	80.0	0.0	10.0	0.0
	その他	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

(4) サービスの支給決定内容の満足度

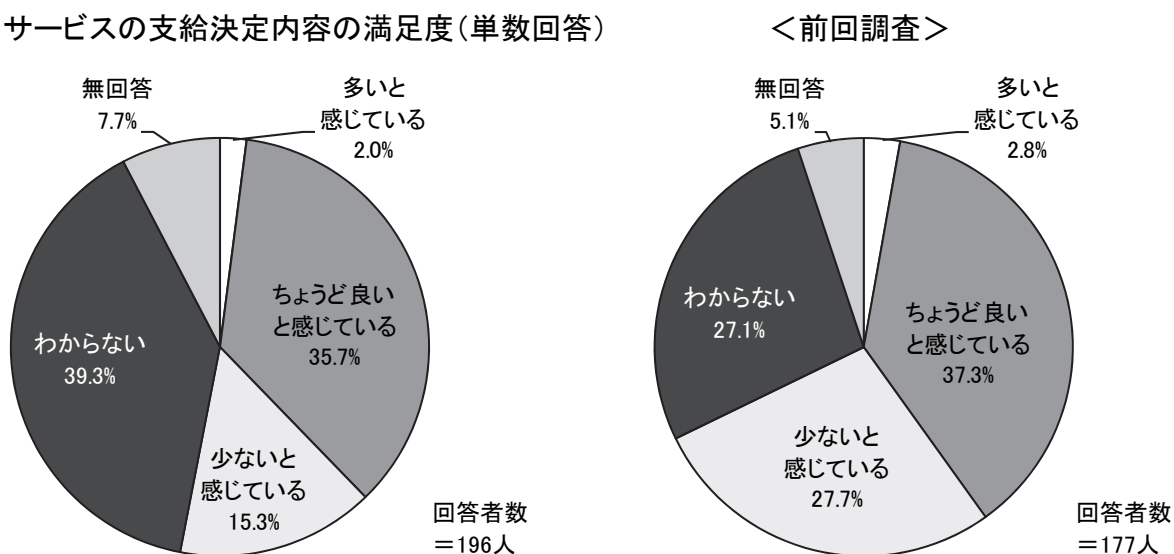
問16 障害福祉のサービスの支給決定内容(量)について、どのように感じていますか。

(1つに○)

サービスの支給決定内容(量)について「ちょうど良いと感じている」は35.7%であり、「少ないと感じている」は15.3%である。

「ちょうど良いと感じている」人の割合は、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図表53 サービスの支給決定内容の満足度(単数回答)



図表54 サービスの支給決定内容の満足度(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	多いと 感じている	ちょうど良いと 感じ ている	少ないと 感じている	わからない	無 回 答
全 体		196	2.0	35.7	15.3	39.3	7.7
障 害 別	身体障害者	85	2.4	34.1	17.6	34.1	11.8
	知的障害者	101	2.0	38.6	9.9	42.6	6.9
	精神障害者	40	2.5	27.5	20.0	45.0	5.0
	難病医療費等助成利用者	10	0.0	40.0	30.0	30.0	0.0
	その他	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

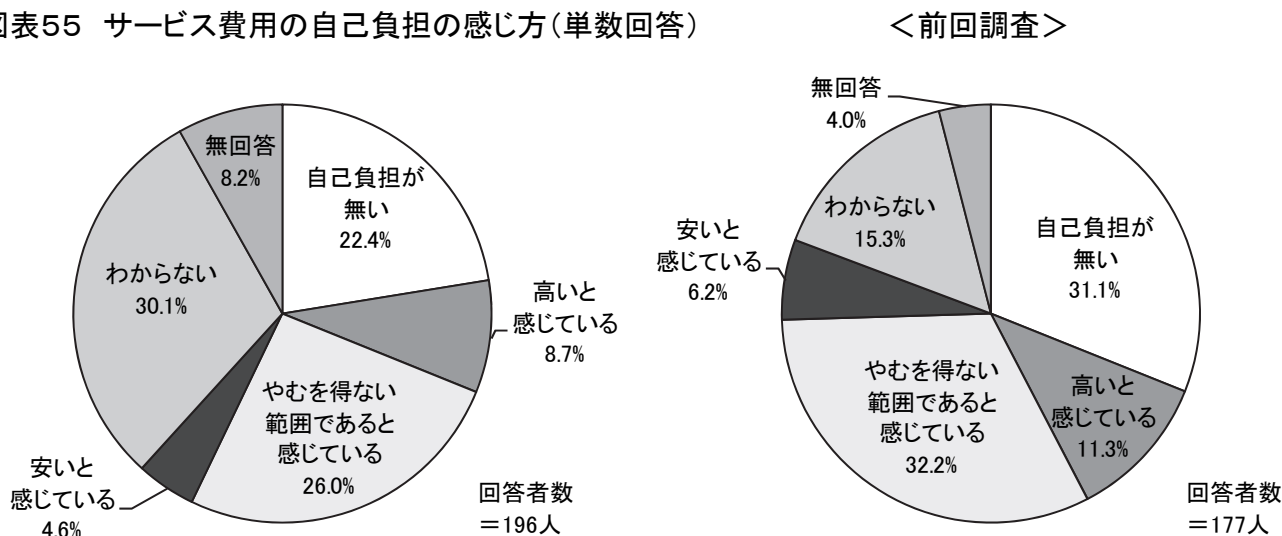
(5) サービス費用の自己負担の感じ方

問17 障害福祉のサービス費用の月額自己負担について、どのように感じていますか。

(1つに〇)

サービス費用の自己負担の感じ方については、「やむを得ない範囲であると感じている」は26.0%であり、「高いと感じている」は8.7%、「安いと感じている」は4.6%となっている。

図表55 サービス費用の自己負担の感じ方(単数回答)



図表56 サービス費用の自己負担の感じ方(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	自己負担が無い	高いと感じている	やむを得ない範囲であると感じている	安いと感じている	わからない	無回答
全体		196	22.4	8.7	26.0	4.6	30.1	8.2
障害別	身体障害者	85	29.4	2.4	34.1	1.2	22.4	10.6
	知的障害者	101	15.8	11.9	21.8	5.0	36.6	8.9
	精神障害者	40	22.5	12.5	17.5	5.0	37.5	5.0
	難病医療費等助成利用者	10	20.0	10.0	20.0	20.0	30.0	0.0
	その他	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0

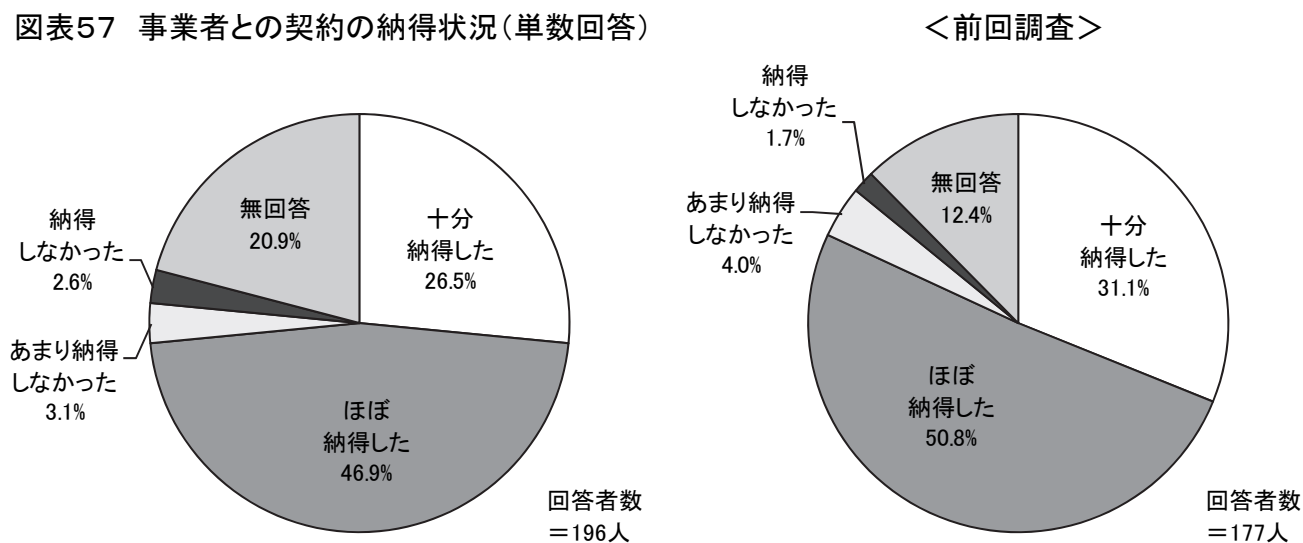
(6) 事業者との契約の納得状況

問18 事業者との契約について、契約内容や重要事項の説明を聞いて納得してから契約しましたか。(1つに○)

事業者との契約の納得状況は、「ほぼ納得した」46.9%、「十分納得した」26.5%の順である。これらをあわせた『納得した』は73.4%であり、前回調査よりも低い割合となっている。

「あまり納得しなかった」は3.1%、「納得しなかった」は2.6%となっている。

図表57 事業者との契約の納得状況(単数回答)



図表58 事業者との契約の納得状況(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	十分納得した	ほぼ納得した	あまり納得しなかった	納得しなかった	無回答
全体		196	26.5	46.9	3.1	2.6	20.9
障害別	身体障害者	85	31.8	42.4	1.2	2.4	22.4
	知的障害者	101	20.8	47.5	5.0	2.0	24.8
	精神障害者	40	22.5	55.0	0.0	5.0	17.5
	難病医療費等助成利用者	10	20.0	50.0	10.0	0.0	20.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

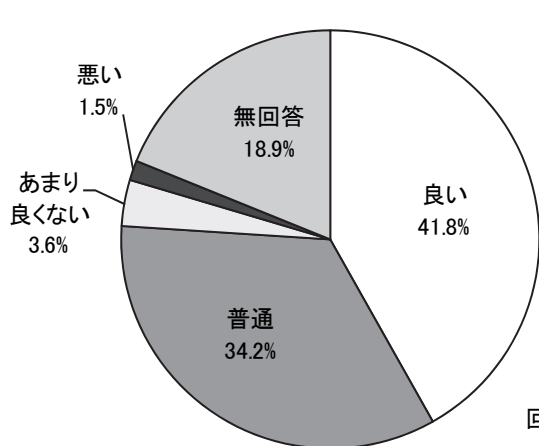
(7)事業者の対応の満足度

問19 事業者の対応について、どのように感じていますか。(1つに○)

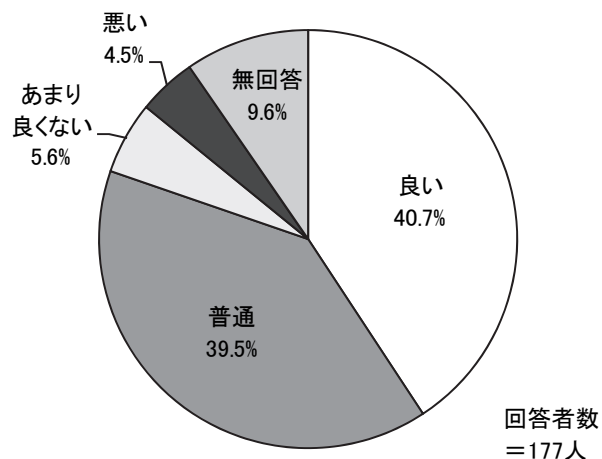
事業者の対応の満足度については、「良い」41.8%、「普通」34.2%の順となっている。「あまり良くない」は3.6%、「悪い」は1.5%であった。

「良い」は前回調査においても約4割と、ほぼ同様の結果となっている。

図表59 事業者の対応の満足度(単数回答)



<前回調査>



図表60 事業者の対応の満足度(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	良い	普通	あまり良くない	悪い	無回答
全体		196	41.8	34.2	3.6	1.5	18.9
障害別	身体障害者	85	41.2	31.8	3.5	2.4	21.2
	知的障害者	101	36.6	36.6	2.0	1.0	23.8
	精神障害者	40	40.0	37.5	7.5	0.0	15.0
	難病医療費等助成利用者	10	60.0	10.0	20.0	0.0	10.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

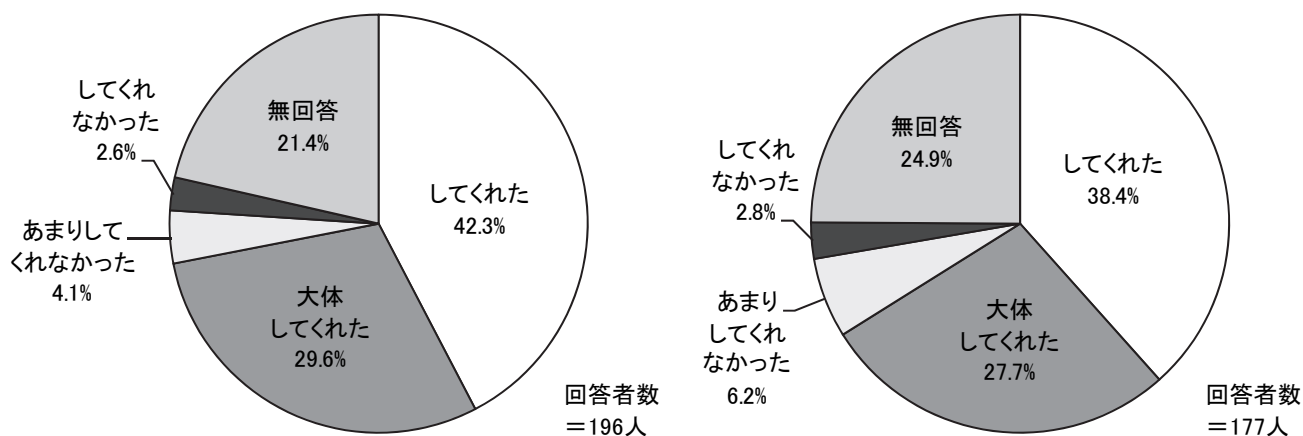
(8) 苦情や不満があった時の事業者の対応状況

問20 事業者に苦情や不満があったとき、その事業者は、十分に内容を聞き、あなたに何らかの対応をしてくれましたか。(1つに○)

苦情や不満があった時の事業者の対応状況をみると、「してくれた」42.3%、「大体してくれた」29.6%の順である。これらをあわせた『してくれた』は71.9%であり、前回調査よりも高い割合となっている。

「あまりしてくれなかった」は4.1%、「してくれなかった」は2.6%であった。

図表61 苦情や不満があった時の事業者の対応状況(単数回答) <前回調査>



図表62 苦情や不満があった時の事業者の対応状況(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	してくれた	大体してくれた	あまりしてくれなかった	してくれなかった	無回答
全体		196	42.3	29.6	4.1	2.6	21.4
障害別	身体障害者	85	41.2	27.1	3.5	3.5	24.7
	知的障害者	101	37.6	34.7	4.0	0.0	23.8
	精神障害者	40	42.5	25.0	7.5	7.5	17.5
	難病医療費等助成利用者	10	40.0	30.0	20.0	0.0	10.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(9) 障害程度区分の認定状況

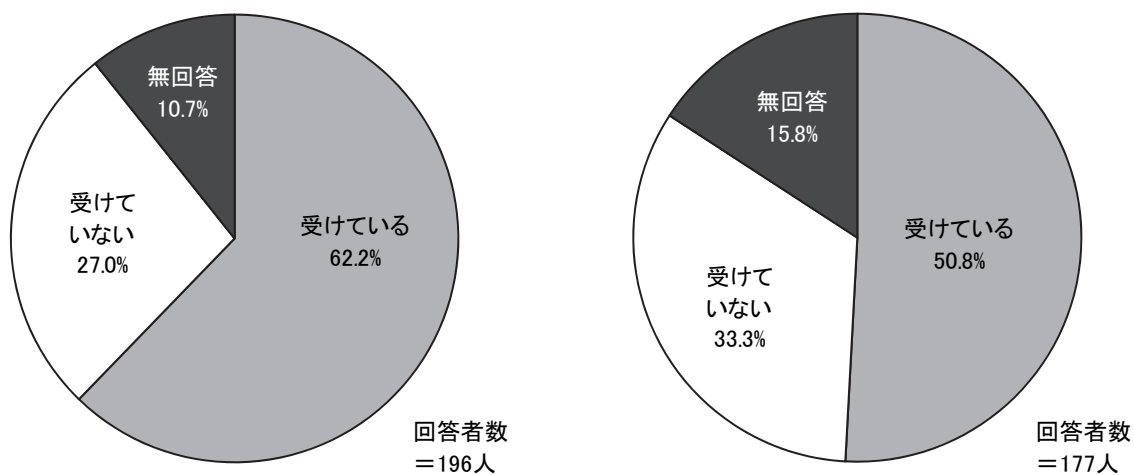
問21 あなたは介護給付を利用するための、障害程度区分の認定を受けていますか。受けている場合は、その区分にも○をしてください。(1つに○)

障害程度区分の認定については、「受けている」が62.2%を占め、前回調査結果よりも高い割合となっている。

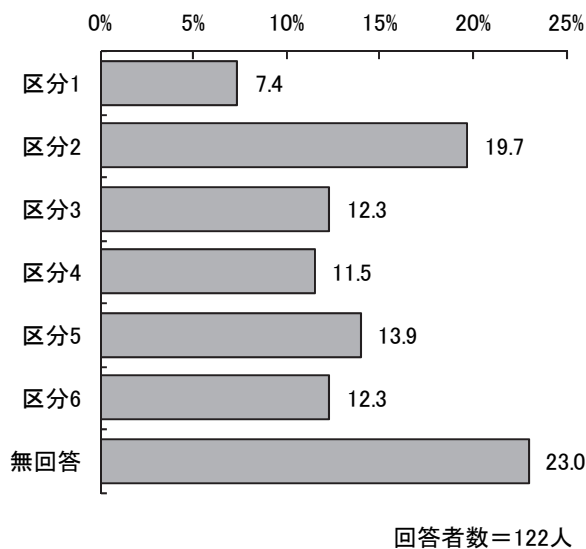
障害程度区分の認定を受けている場合の区分は、「区分2」19.7%、「区分5」13.9%、「区分3」「区分6」各12.3%、「区分4」11.5%、「区分1」7.4%の順となっている。

図表63 障害程度区分の認定状況(単数回答)

<前回調査>



図表64 障害程度区分(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・ 障害程度区分の認定を「受けている」割合は、身体障害者及び精神障害者は5割台、知的障害者と難病医療費等助成利用者は7割台。

図表65 障害程度区分の認定状況(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	受けている	受けていない	無回答
全 体		196	62.2	27.0	10.7
障害別	身体障害者	85	55.3	29.4	15.3
	知的障害者	101	75.2	15.8	8.9
	精神障害者	40	57.5	37.5	5.0
	難病医療費等助成利用者	10	70.0	20.0	10.0
	その他	4	0.0	100.0	0.0

(10)障害程度区分認定調査に対する評価

「1. 受けている」に○をした方に、障害程度区分認定調査についておたずねします。

問21-1 時間はちょうど良かったですか。(1つに○)

問21-2 答えやすい内容でしたか。(1つに○)

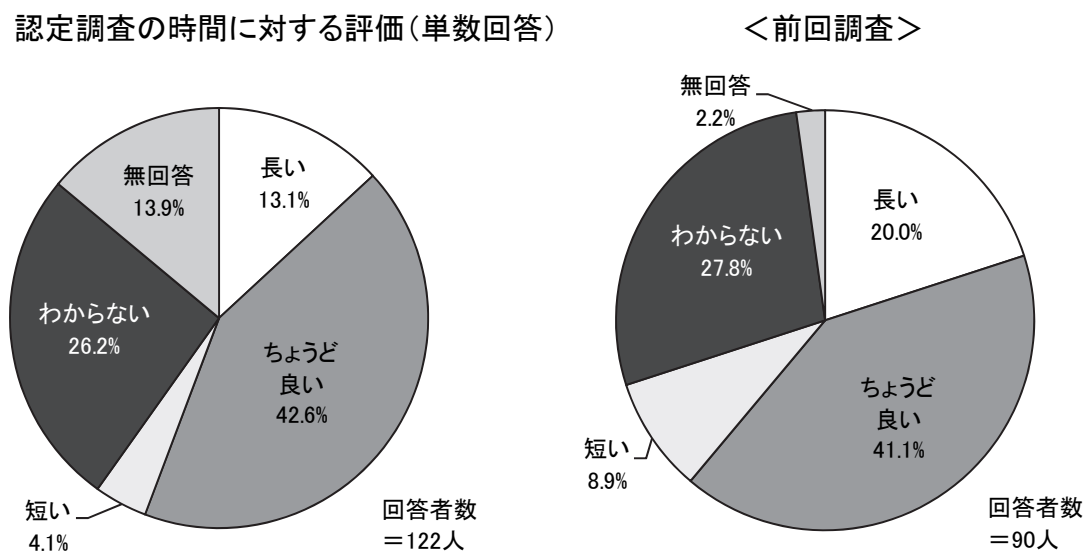
問21-3 調査員の説明は、わかりやすかったですか。(1つに○)

①認定調査の時間に対する評価

認定調査の時間については、42.6%と半数近くが「ちょうど良い」と回答しており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「長い」は13.1%、「短い」は4.1%であった。

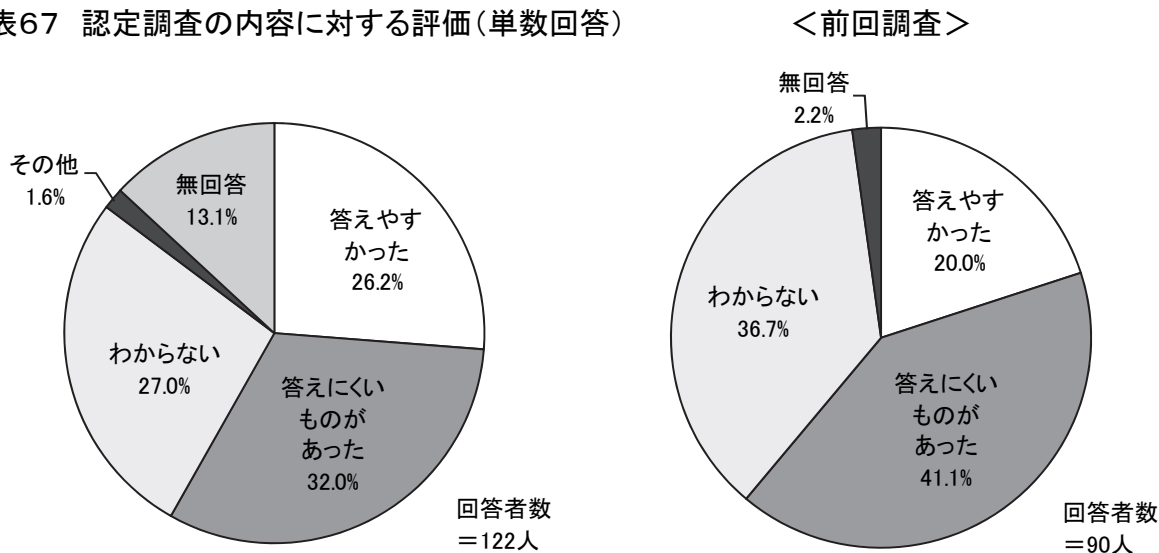
図表66 認定調査の時間に対する評価(単数回答)



②認定調査の内容に対する評価

認定調査の内容については、「答えやすかった」は26.2%であり、「答えにくいものがあった」は32.0%である。前回調査よりも「答えやすかった」の割合は高く、「答えにくいものがあった」の割合は低くなっている。

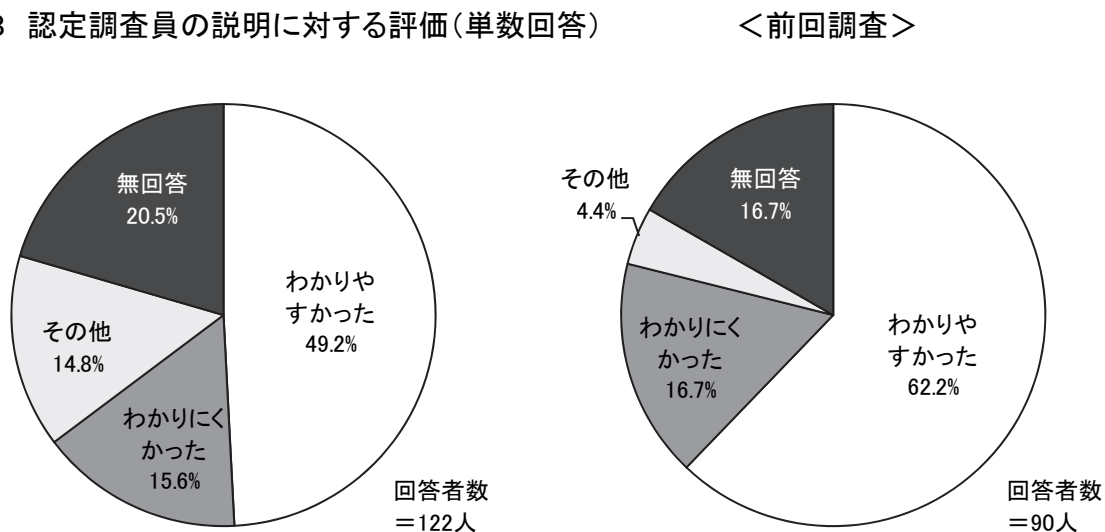
図表67 認定調査の内容に対する評価(単数回答)



③認定調査員の説明に対する評価

認定調査員の説明については、「わかりやすかった」は49.2%であり、前回調査よりも低い割合となっている。「わかりにくかった」は15.6%である。

図表68 認定調査員の説明に対する評価(単数回答)

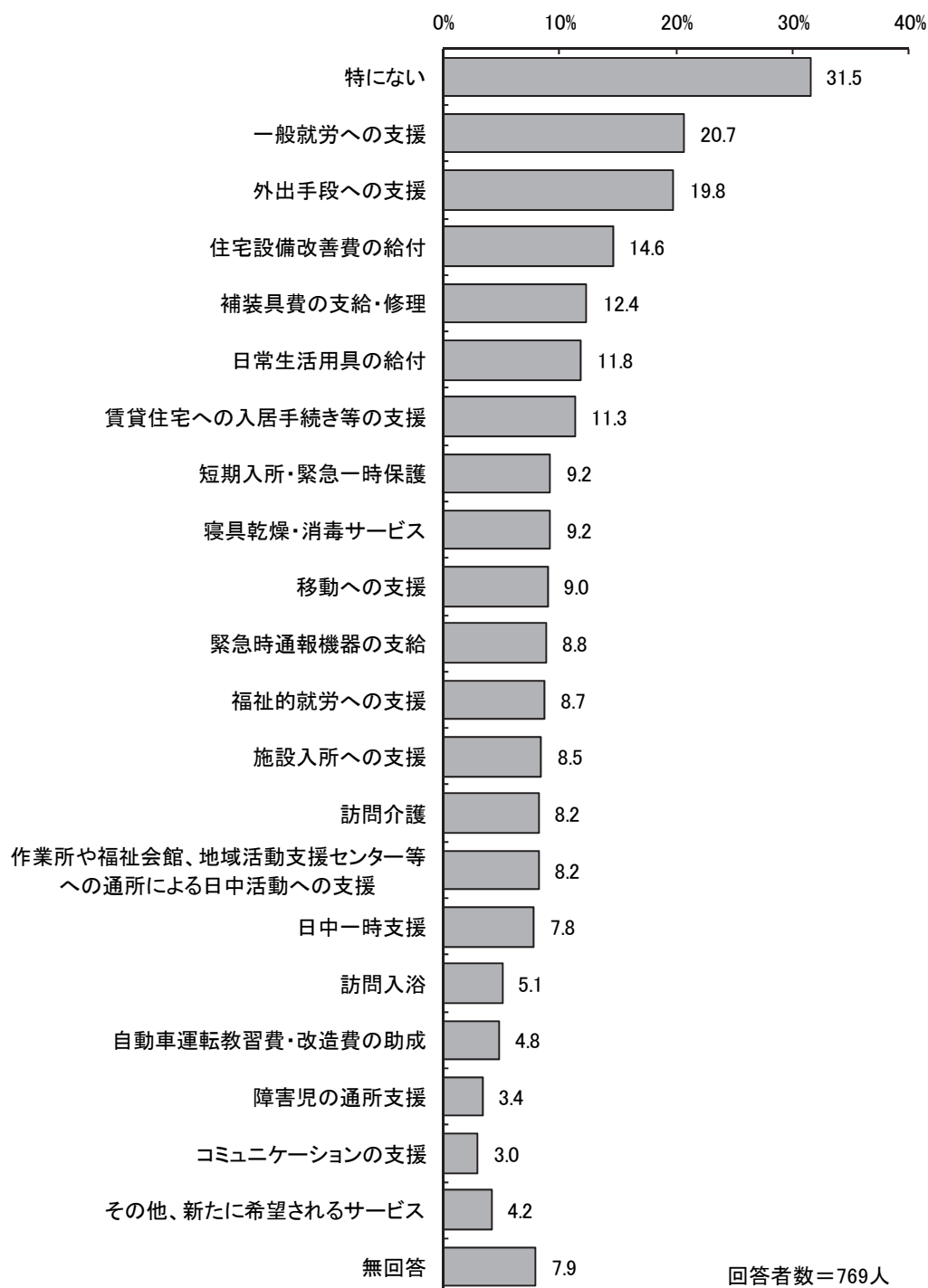


(11) 今後、充実を希望するサービス

問22 今後、あなたが充実を希望するサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、充実を希望するサービスとしては、「特にない」が31.5%であり、次いで「一般就労への支援」20.7%、「外出手段への支援」19.8%、「住宅設備改善費の給付」14.6%、「補装具費の支給・修理」12.4%となっている。

図表69 今後、充実を希望するサービス(複数回答)



<障害別にみたポイント>

「特にない」を除いた上位2位

- ・身体障害者は「外出手段への支援」「補装具費の支給・修理」。
- ・知的障害者は「施設入所への支援」「福祉的就労への支援」「作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援」。
- ・精神障害者は「一般就労への支援」「賃貸住宅への入居手続き等の支援」。
- ・難病医療費等助成利用者は「外出手段への支援」「一般就労への支援」。

図表70 今後、充実を希望するサービス(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	特にない	一般就労への支援	外出手段への支援	住宅設備改善費の給付	補装具費の支給・修理	日常生活用具の給付	賃貸住宅への入居手続き等の支援	短期入所・緊急一時保護	寝具乾燥・消毒サービス	移動への支援	緊急時通報機器の支給
全体		769	31.5	20.7	19.8	14.6	12.4	11.8	11.3	9.2	9.2	9.0	8.8
障害別	身体障害者	475	29.1	18.1	25.9	18.1	19.2	16.8	10.7	7.6	10.5	8.0	10.9
	知的障害者	134	25.4	18.7	14.9	10.4	6.7	8.2	7.5	19.4	6.7	19.4	5.2
	精神障害者	160	33.1	30.0	6.9	10.6	3.1	6.3	16.3	10.0	8.8	6.9	5.0
	難病医療費等助成利用者	96	40.6	21.9	25.0	14.6	9.4	9.4	8.3	7.3	11.5	7.3	8.3
	その他	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

		回答者数(人)	福祉的就労への支援	施設入所への支援	訪問介護	作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援	日中一時支援	訪問入浴	自動車運転教習費・改造費の助成	障害児の通所支援	コミュニケーションの支援	その他、新たに希望されるサービス	無回答
全体		769	8.7	8.5	8.2	8.2	7.8	5.1	4.8	3.4	3.0	4.2	7.9
障害別	身体障害者	475	6.5	5.9	9.1	5.3	6.5	6.3	6.5	2.1	4.4	3.6	7.4
	知的障害者	134	20.1	21.6	6.0	20.1	14.9	6.0	2.2	9.7	1.5	3.0	13.4
	精神障害者	160	10.0	5.6	8.8	10.6	8.1	3.8	1.9	1.3	1.3	3.8	8.1
	難病医療費等助成利用者	96	5.2	5.2	7.3	4.2	7.3	4.2	3.1	1.0	2.1	7.3	5.2
	その他	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0

<身体障害の種類別にみたポイント>

「特にない」を除いた上位2位

- ・ 視覚障害の人は「外出手段への支援」「移動への支援」。
- ・ 聴覚障害の人は「補装具費の支給・修理」「コミュニケーションの支援」。
- ・ 肢体不自由の人は「外出手段への支援」「補装具費の支給・修理」。
- ・ 内部障害の人は「外出手段への支援」「一般就労への支援」。

図表71 今後、充実を希望するサービス(身体障害の種類別)

(単位:%)

	回答者数(人)	特にない	一般就労への支援	外出手段への支援	住宅設備改善費の給付	補装具費の支給・修理	日常生活用具の給付	賃貸住宅への入居手続き等の支援	短期入所・緊急一時保護	寝具乾燥・消毒サービス	移動への支援	緊急時通報機器の支給	
全体	475	29.1	18.1	25.9	18.1	19.2	16.8	10.7	7.6	10.5	8.0	10.9	
身体障害の種類別	視覚障害	46	37.0	15.2	28.3	19.6	10.9	19.6	10.9	6.5	13.0	21.7	8.7
	聴覚障害	41	17.1	17.1	14.6	24.4	41.5	24.4	12.2	7.3	12.2	4.9	24.4
	肢体不自由	222	26.6	18.9	29.7	22.5	25.7	21.2	11.3	8.6	14.0	9.9	11.3
	内部障害	135	33.3	19.3	22.2	16.3	8.1	11.1	9.6	7.4	4.4	3.7	8.9
	その他	38	28.9	10.5	15.8	7.9	15.8	13.2	10.5	7.9	13.2	5.3	5.3

	回答者数(人)	福祉的就労への支援	施設入所への支援	訪問介護	作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援	日中一時支援	訪問入浴	自動車運転教習費・改造費の助成	障害児の通所支援	コミュニケーションの支援	その他、新たに希望されるサービス	無回答	
全体	475	6.5	5.9	9.1	5.3	6.5	6.3	6.5	2.1	4.4	3.6	7.4	
身体障害の種類別	視覚障害	46	6.5	4.3	6.5	4.3	13.0	6.5	2.2	2.2	6.5	2.2	10.9
	聴覚障害	41	7.3	4.9	7.3	7.3	7.3	7.3	14.6	4.9	26.8	4.9	7.3
	肢体不自由	222	6.8	7.7	11.7	7.7	7.7	8.6	9.0	3.6	2.7	3.6	6.3
	内部障害	135	5.2	5.2	8.1	2.2	5.2	5.2	3.0	0.0	1.5	3.0	5.9
	その他	38	13.2	2.6	7.9	2.6	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	18.4

<障害福祉サービスの利用状況別にみたポイント>

「特にない」を除いた上位3位

- ・利用している（「ある」）人は、「外出手段への支援」「作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援」「短期入所・緊急一時保護」。
- ・利用していない（「ない」）人は、「一般就労への支援」「外出手段への支援」「住宅設備改善費の給付」。

図表72 今後、充実を希望するサービス(サービスの利用状況別) (単位:%)

		回答者数(人)	特にない	一般就労への支援	外出手段への支援	住宅設備改善費の給付	補装具費の支給・修理	日常生活用具の給付	賃貸住宅への入居手続き等の支援	短期入所・緊急一時保護	寝具乾燥・消毒サービス	移動への支援	緊急時通報機器の支給
全体		769	31.5	20.7	19.8	14.6	12.4	11.8	11.3	9.2	9.2	9.0	8.8
サービスの利用状況別	ある	196	21.9	16.8	21.9	12.8	11.7	11.7	9.7	19.9	11.2	19.4	8.2
	ない	555	35.1	22.3	19.5	15.5	12.8	12.1	11.9	5.4	8.6	5.6	9.2

		回答者数(人)	福祉的就労への支援	施設入所への支援	訪問介護	作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援	日中一時支援	訪問入浴	自動車運転教習費・改造費の助成	障害児の通所支援	コミュニケーションの支援	その他、新たに希望されるサービス	無回答
全体		769	8.7	8.5	8.2	8.2	7.8	5.1	4.8	3.4	3.0	4.2	7.9
サービスの利用状況別	ある	196	17.3	18.9	15.8	20.9	15.8	10.2	1.5	8.2	3.6	3.6	9.7
	ない	555	5.9	4.9	5.6	4.0	5.2	3.2	5.9	1.8	2.7	4.3	6.1

<医療的ケアの必要性別にみたポイント>

- ・必要としている人の「特にない」を除いた上位3位は、「外出手段への支援」「住宅設備改善費の給付」「日常生活用具の給付」。

図表73 今後、充実を希望するサービス(医療的ケアの必要性別) (単位:%)

		回答者数(人)	特にない	一般就労への支援	外出手段への支援	住宅設備改善費の給付	補装具費の支給・修理	日常生活用具の給付	賃貸住宅への入居手続き等の支援	短期入所・緊急一時保護	寝具乾燥・消毒サービス	移動への支援	緊急時通報機器の支給
全体		769	31.5	20.7	19.8	14.6	12.4	11.8	11.3	9.2	9.2	9.0	8.8
医療的ケアの必要性別	必要としている	48	27.1	14.6	27.1	22.9	20.8	22.9	12.5	20.8	20.8	12.5	12.5
	必要としていない	666	33.0	21.5	20.0	14.4	12.2	11.7	11.0	8.9	9.0	9.0	8.4

		回答者数(人)	福祉的就労への支援	施設入所への支援	訪問介護	作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援	日中一時支援	訪問入浴	自動車運転教習費・改造費の助成	障害児の通所支援	コミュニケーションの支援	その他、新たに希望されるサービス	無回答
全体		769	8.7	8.5	8.2	8.2	7.8	5.1	4.8	3.4	3.0	4.2	7.9
医療的ケアの必要性別	必要としている	48	10.4	16.7	14.6	10.4	16.7	14.6	8.3	6.3	4.2	2.1	8.3
	必要としていない	666	8.9	8.3	8.1	8.3	7.4	4.5	4.4	3.2	3.0	4.7	6.2

※分析の柱である医療的ケアの必要性別については、55ページを参照

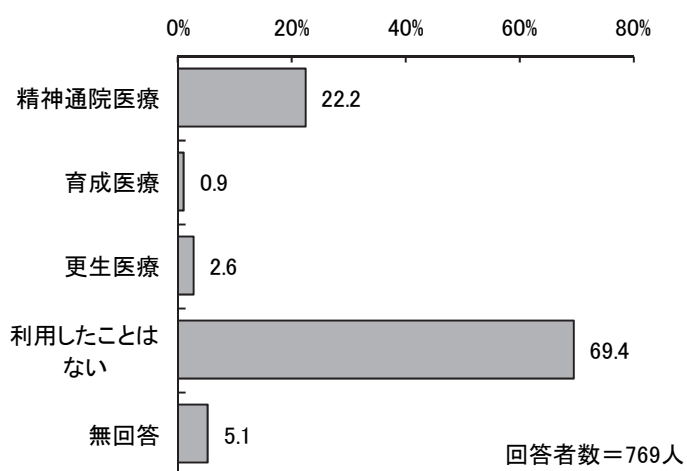
5. 自立支援医療などについて

(1) 自立支援医療の利用状況

問23 あなたは、自立支援医療を利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

自立支援医療の利用状況を見ると、『利用したことがある』人の割合（100%から「利用したことはない」「無回答」を除いた割合）は25.5%、約4人に1人となっている。利用したことがある自立支援医療としては、「精神通院医療」が22.2%、「更生医療」が2.6%、「育成医療」が0.9%となっている。

図表74 自立支援医療の利用状況(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・精神障害者は96.9%が「精神通院医療」をあげている。

図表75 自立支援医療の利用状況(障害別) (単位:%)

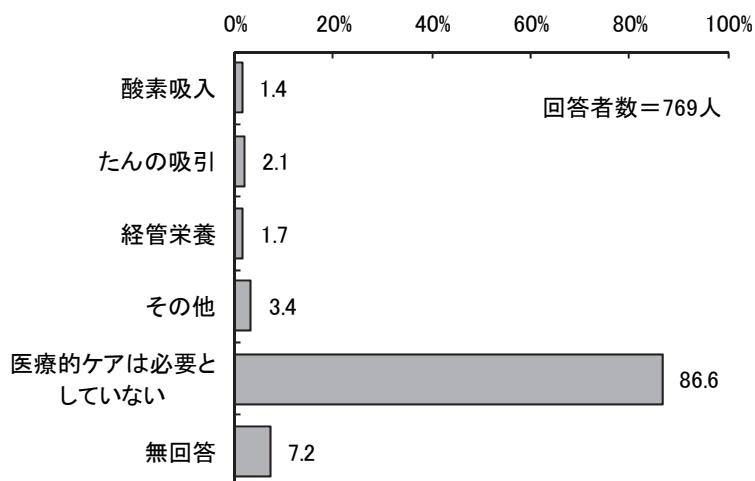
		回答者数(人)	精神通院医療	育成医療	更生医療	利用したことはない	無回答
全体		769	22.2	0.9	2.6	69.4	5.1
障害別	身体障害者	475	7.2	1.3	4.0	82.3	5.5
	知的障害者	134	17.9	1.5	0.0	70.9	9.7
	精神障害者	160	96.9	0.6	0.6	1.3	1.9
	難病医療費等助成利用者	96	6.3	0.0	2.1	88.5	3.1
	その他	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(2) 医療的ケアの必要性

問24 あなたは、次のような医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアの必要性をみると、『必要としている』人の割合（100%から「医療的ケアは必要としない」「無回答」を除いた割合）は6.2%となっている。必要とする医療的ケアは、「たんの吸引」2.1%、「経管栄養」1.7%、「酸素吸入」1.4%となっている。

図表76 医療的ケアの必要性(複数回答)



図表77 医療的ケアの必要性(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	酸素吸入	たんの吸引	経管栄養	その他	医療的ケアは必要としない	無回答
全体		769	1.4	2.1	1.7	3.4	86.6	7.2
障害別	身体障害者	475	1.9	2.9	2.3	5.5	83.6	7.4
	知的障害者	134	1.5	3.0	2.2	2.2	85.8	9.7
	精神障害者	160	0.6	0.0	0.6	0.0	90.6	8.1
	難病医療費等助成利用者	96	1.0	2.1	3.1	3.1	88.5	3.1
	その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

6. 権利擁護について

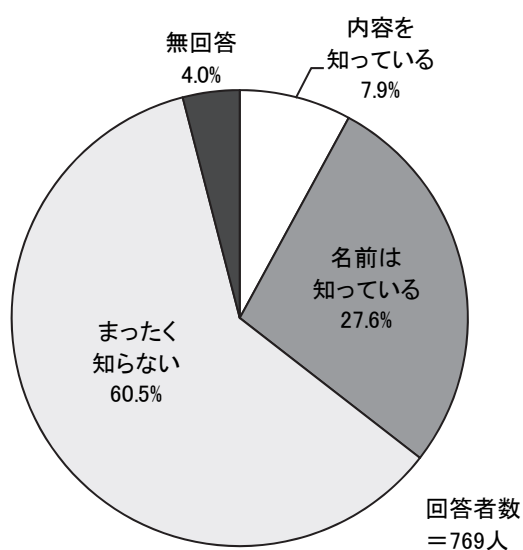
(1) 障害者虐待防止法の認知度

問25 障害者の尊厳を守り、自立や社会参加の妨げとならないよう虐待を禁止するとともに、その予防と早期発見のための取り組みなどを定めた「障害者虐待防止法」が、平成24年10月に施行されました。

あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

障害者虐待防止法の認知度は、「まったく知らない」が60.5%と約6割を占める。次いで「名前は知っている」27.6%であり、「内容を知っている」は7.9%と1割を下回った。

図表78 障害者虐待防止法の認知度(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・精神障害者は「まったく知らない」が73.1%を占め、他の障害に比べて認知度が低い。

図表79 障害者虐待防止法の認知度(障害別)

(単位: %)

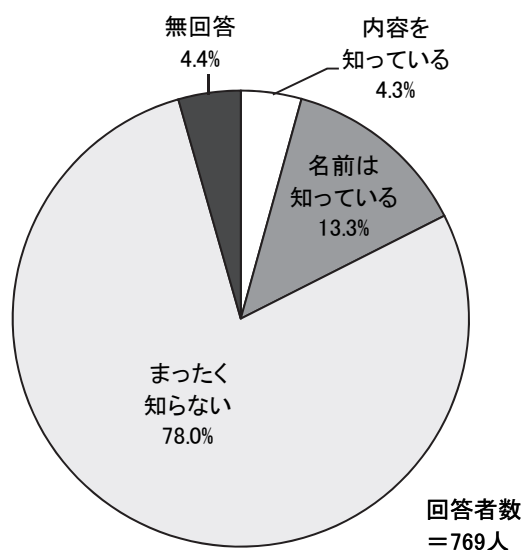
		回答者数(人)	内容を知っている	名前は知っている	まったく知らない	無回答
全体		769	7.9	27.6	60.5	4.0
障害別	身体障害者	475	8.2	31.8	56.6	3.4
	知的障害者	134	11.9	26.1	53.7	8.2
	精神障害者	160	5.0	17.5	73.1	4.4
	難病医療費等助成利用者	96	9.4	29.2	61.5	0.0
	その他	4	0.0	25.0	75.0	0.0

(2) 障害者虐待防止センターの認知度

問26 「障害者虐待防止法」の施行をうけ、区では虐待防止に関する24時間対応の相談や一時的な保護の提供などを行う「障害者虐待防止センター」を開設しました。あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

障害者虐待防止センターの認知度は、「まったく知らない」が78.0%と8割近い。「内容を知っている」は4.3%、「名前は知っている」は13.3%となっている。

図表80 障害者虐待防止センターの認知度(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・全障害において、「まったく知らない」が7割を超えている。

図表81 障害者虐待防止センターの認知度(障害別)

(単位: %)

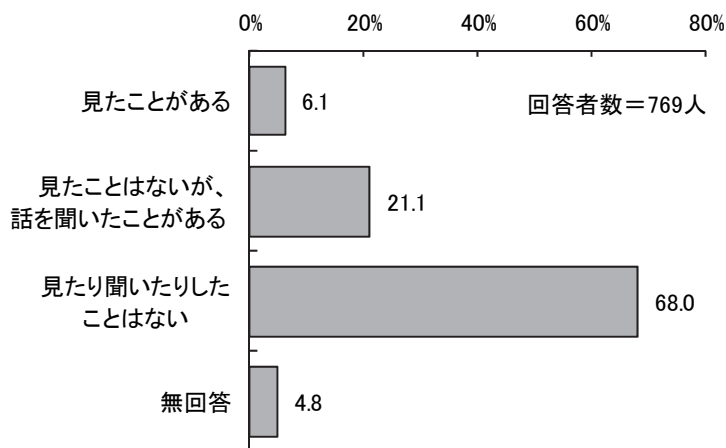
		回答者数(人)	内容を知っている	名前は知っている	まったく知らない	無回答
全体		769	4.3	13.3	78.0	4.4
障害別	身体障害者	475	4.6	16.0	75.4	4.0
	知的障害者	134	7.5	11.9	72.4	8.2
	精神障害者	160	1.3	7.5	86.9	4.4
	難病医療費等助成利用者	96	6.3	10.4	82.3	1.0
	その他	4	0.0	0.0	100.0	0.0

(3) 虐待場面に遭遇した経験

問27 あなたの身の回りで、障害者に対する虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。
(1つに○)

虐待場面に遭遇した経験をみると、「見たり聞いたりしたことはない」が68.0%を占める一方、6.1%が「見たことがある」、21.1%が「見たことはないが、話を聞いたことがある」と回答している。

図表82 虐待場面に遭遇した経験(単数回答)



図表83 虐待場面に遭遇した経験(障害別)

(単位: %)

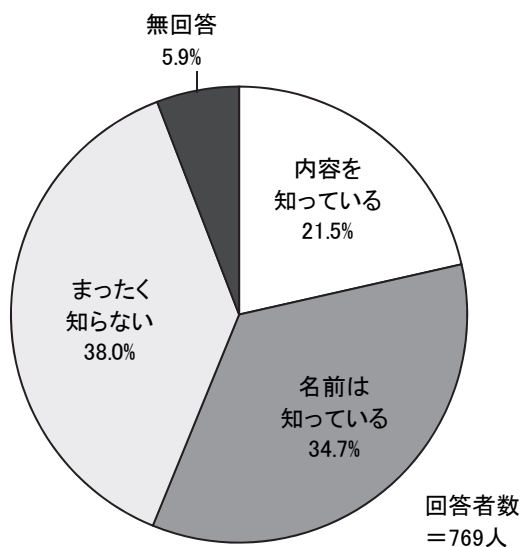
		回答者数(人)	見たことがある	見たことはないが、話を聞いたことがある	見たり聞いたりしたことはない	無回答
全体		769	6.1	21.1	68.0	4.8
障害別	身体障害者	475	5.7	21.7	69.1	3.6
	知的障害者	134	8.2	22.4	59.0	10.4
	精神障害者	160	8.1	20.0	65.6	6.3
	難病医療費等助成利用者	96	7.3	20.8	70.8	1.0
	その他	4	0.0	25.0	75.0	0.0

(4) 成年後見制度の認知度

問28 あなたは、知的障害、精神障害、認知症などにより、判断能力が十分でない方の権利を守る、「成年後見制度」について知っていますか。(1つに○)

成年後見制度の認知度をみると、「まったく知らない」は38.0%、「名前は知っている」は34.7%であり、「内容を知っている」は21.5%と約5人に1人の割合である。

図表84 成年後見制度の認知度(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び難病医療費等助成利用者は「内容を知っている」が、他の障害に比べて高い。
- ・知的障害者は「まったく知らない」が約5割、精神障害者は4割台を占める。

図表85 成年後見制度の認知度(障害別)

(単位: %)

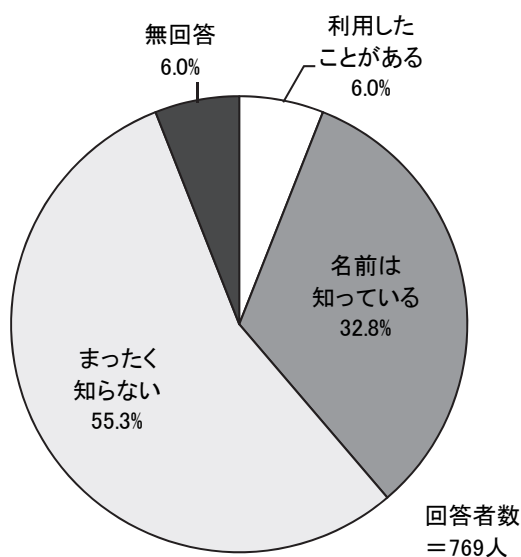
		回答者数(人)	内容を知っている	名前は知っている	まったく知らない	無回答
全体		769	21.5	34.7	38.0	5.9
障害別	身体障害者	475	24.4	33.9	36.2	5.5
	知的障害者	134	17.2	23.9	49.3	9.7
	精神障害者	160	15.0	38.1	42.5	4.4
	難病医療費等助成利用者	96	29.2	40.6	28.1	2.1
	その他	4	0.0	75.0	25.0	0.0

(5) 障害者相談支援事業所の認知度

問29 障害者相談支援事業所(精神障害者地域生活支援センターあさがお、相談支援センターアップル、障害者支援施設浅草ほうらい、相談支援センターほおずきなど)では、障害のある方やそのご家族から相談を受け、地域で生活するための支援を行っています。あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

障害者相談支援事業所の認知度は、「まったく知らない」が 55.3%と過半数を占める。次いで「名前は知っている」32.8%であり、「利用したことがある」は6.0%であった。

図表86 障害者相談支援事業所の認知度(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・ 知的障害者及び精神障害者は「利用したことがある」が、他の障害に比べて高い。

図表87 障害者相談支援事業所の認知度(障害別)

(単位: %)

		回答者数(人)	利用したことがある	名前は知っている	まったく知らない	無回答
全体		769	6.0	32.8	55.3	6.0
障害別	身体障害者	475	3.8	37.3	54.1	4.8
	知的障害者	134	9.7	28.4	51.5	10.4
	精神障害者	160	12.5	25.6	56.3	5.6
	難病医療費等助成利用者	96	4.2	34.4	59.4	2.1
	その他	4	0.0	50.0	50.0	0.0

7. 区に対する要望などについて

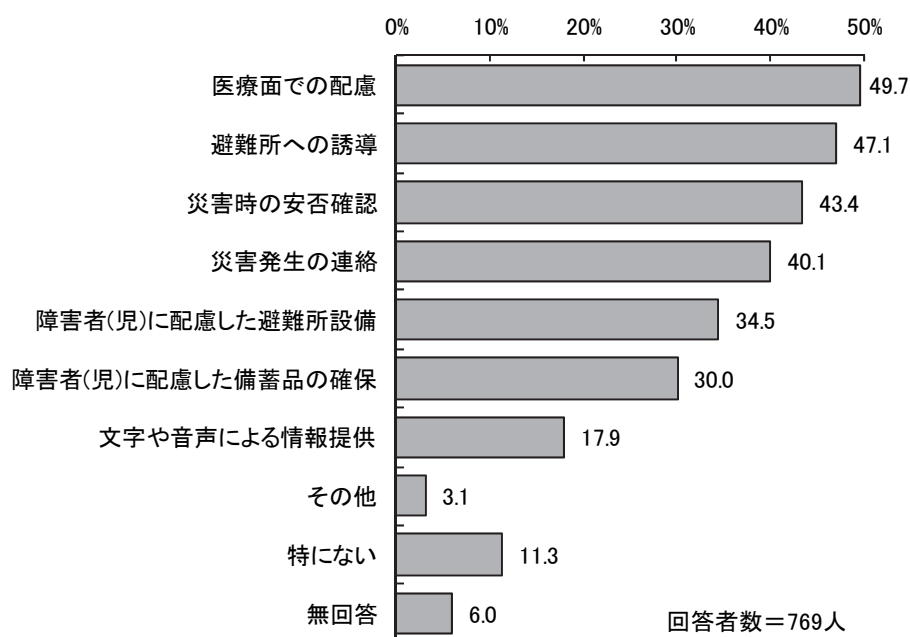
(1) 災害時に必要とするもの

問30 地震などの災害が発生したときに、あなたが必要とするものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

災害時に必要とするものとしては、「医療面での配慮」49.7%、「避難所への誘導」47.1%、「災害時の安否確認」43.4%が上位3位にあげられている。

図表88 災害時に必要とするもの(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者、精神障害者及び難病医療費等助成利用者は「医療面での配慮」が第1位。
- ・知的障害者は「避難所への誘導」が第1位。また他の障害に比べて「障害者（児）に配慮した避難所設備」の割合が高い。

<身体障害者の種類別にみたポイント>

- ・視覚障害及び肢体不自由の人は「避難所への誘導」、聴覚障害の人は「文字や音声による情報提供」、内部障害の人は「医療面での配慮」が第1位。

図表89 災害時に必要とするもの(障害別/身体障害の種類別)

(単位:%)

	回答者数(人)	医療面での配慮	避難所への誘導	災害時の安否確認	災害発生との連絡	避難所設備	障害者(児)に配慮した備蓄品の確保	障害者(児)に配慮した文字や音声による情報提供	その他	特になし	無回答	
全体	769	49.7	47.1	43.4	40.1	34.5	30.0	17.9	3.1	11.3	6.0	
障害別	身体障害者	475	52.0	45.1	41.7	39.4	38.5	32.6	20.6	2.9	10.9	5.1
	視覚障害	46	43.5	54.3	41.3	45.7	41.3	32.6	43.5	2.2	10.9	4.3
	聴覚障害	41	43.9	53.7	56.1	65.9	46.3	34.1	73.2	2.4	7.3	2.4
	肢体不自由	222	47.3	51.4	44.1	37.8	45.0	36.0	12.6	2.3	12.6	5.4
	内部障害	135	67.4	29.6	34.1	32.6	27.4	31.1	11.1	3.7	7.4	6.7
	その他	38	52.6	50.0	36.8	42.1	28.9	28.9	21.1	7.9	10.5	5.3
	知的障害者	134	38.8	58.2	46.3	37.3	46.3	40.3	11.2	4.5	6.7	11.2
	精神障害者	160	51.9	45.0	43.8	41.3	24.4	24.4	16.3	3.8	10.6	5.0
	難病医療費等助成利用者	96	62.5	45.8	45.8	37.5	28.1	29.2	14.6	1.0	15.6	3.1
	その他	4	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0

<現在の暮らし方別にみたポイント>

- ・一人暮らしの人は「医療面での配慮」「避難所への誘導」、家族と生活している人は「医療面での配慮」、入所施設やグループホーム等で生活している人は「避難所への誘導」が第1位。

<現在の日中の過ごし方別にみたポイント>

- ・働いている及び自宅で過ごしている人は「医療面での配慮」、それ以外の過ごし方をしている人では「避難所への誘導」が第1位。

<介護の状況別にみたポイント>

- ・介護者がいる人では「避難所への誘導」「障害者（児）に配慮した避難所設備」、特に介護の必要がない人では「医療面での配慮」「災害時の安否確認」が上位2位。

図表90 災害時に必要とするもの(現在の暮らし方別/現在の日中の過ごし方別/介護の状況別)

(単位:%)

		回答者数(人)	医療面での配慮	避難所への誘導	災害時の安否確認	災害発生との連絡	避難所設備	障害者(児)に配慮した備蓄品の確保	障害者(児)に配慮した文字や音声による情報提供	その他	特になし	無回答
全体		769	49.7	47.1	43.4	40.1	34.5	30.0	17.9	3.1	11.3	6.0
現在の暮らし方別	一人暮らし	159	45.9	45.9	35.8	35.8	29.6	25.8	18.9	3.1	15.7	4.4
	家族と生活	501	52.3	45.5	47.7	43.9	35.7	31.1	19.6	2.4	10.8	5.2
	家族以外の人と生活	18	61.1	61.1	61.1	50.0	50.0	44.4	16.7	0.0	5.6	5.6
	入所施設で生活	50	32.0	48.0	26.0	24.0	34.0	32.0	6.0	12.0	8.0	18.0
	グループホーム等で共同生活	27	37.0	70.4	33.3	22.2	37.0	25.9	7.4	0.0	7.4	7.4
	その他	6	66.7	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
現在の日中の過ごし方別	働いている	310	50.6	42.9	45.2	42.3	30.6	27.7	18.4	3.2	11.6	5.5
	保育園や幼稚園、学校などに通っている	41	43.9	61.0	46.3	29.3	56.1	46.3	24.4	2.4	12.2	4.9
	通所施設で訓練や介護を受けている	42	50.0	69.0	52.4	40.5	59.5	52.4	31.0	0.0	7.1	7.1
	地域活動支援センターに通っている	17	64.7	88.2	64.7	64.7	41.2	35.3	17.6	0.0	0.0	0.0
	入所施設で過ごしている	52	32.7	48.1	26.9	25.0	36.5	30.8	7.7	11.5	7.7	19.2
	自宅で過ごしている	363	54.3	47.9	46.0	42.7	33.6	29.8	19.8	1.9	12.1	3.6
	その他	42	57.1	50.0	35.7	50.0	33.3	31.0	26.2	4.8	2.4	4.8
介護の状況別	介護者がいる	239	50.2	59.0	45.2	36.4	51.0	41.8	15.9	3.3	5.0	9.2
	特に介護の必要がない	497	48.9	41.0	43.7	41.4	27.0	24.9	18.5	2.6	13.9	4.4

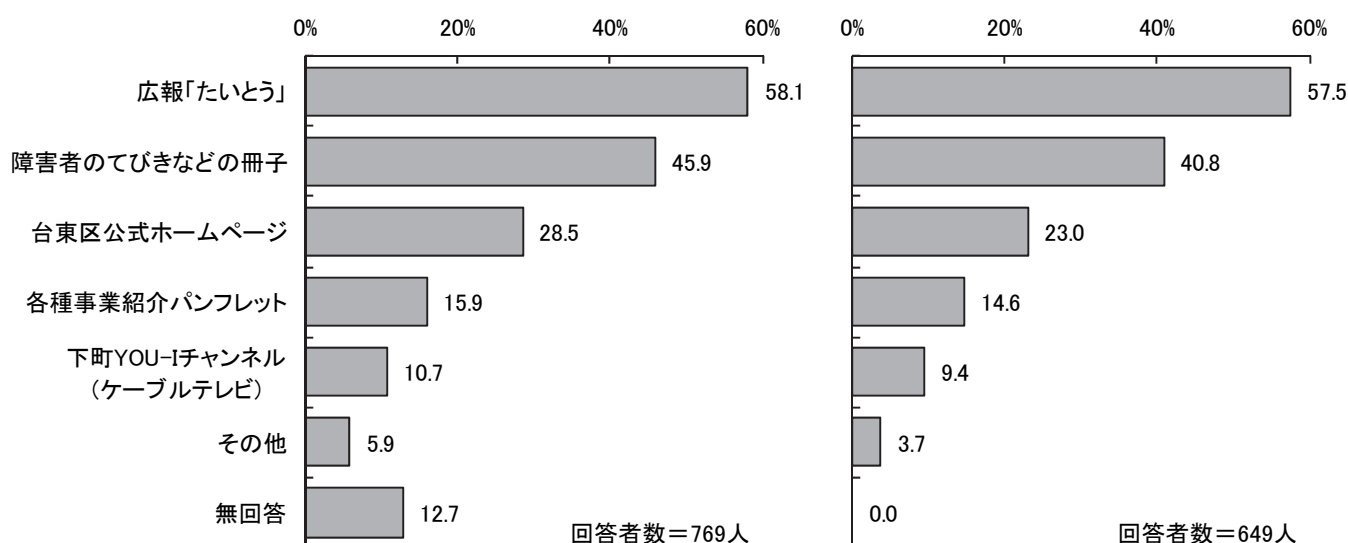
(2) 今後、充実を希望する情報の入手先

問31 障害福祉に関する情報の入手方法として、今後、充実を希望するものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、充実を希望する情報の入手先は、「広報『たいとう』」58.1%、「障害者のてびきなどの冊子」45.9%、「台東区公式ホームページ」28.5%の順となっている。

図表91 今後、充実を希望する情報の入手先(複数回答)

<前回調査>



図表92 今後、充実を希望する情報の入手先(障害別) (単位:%)

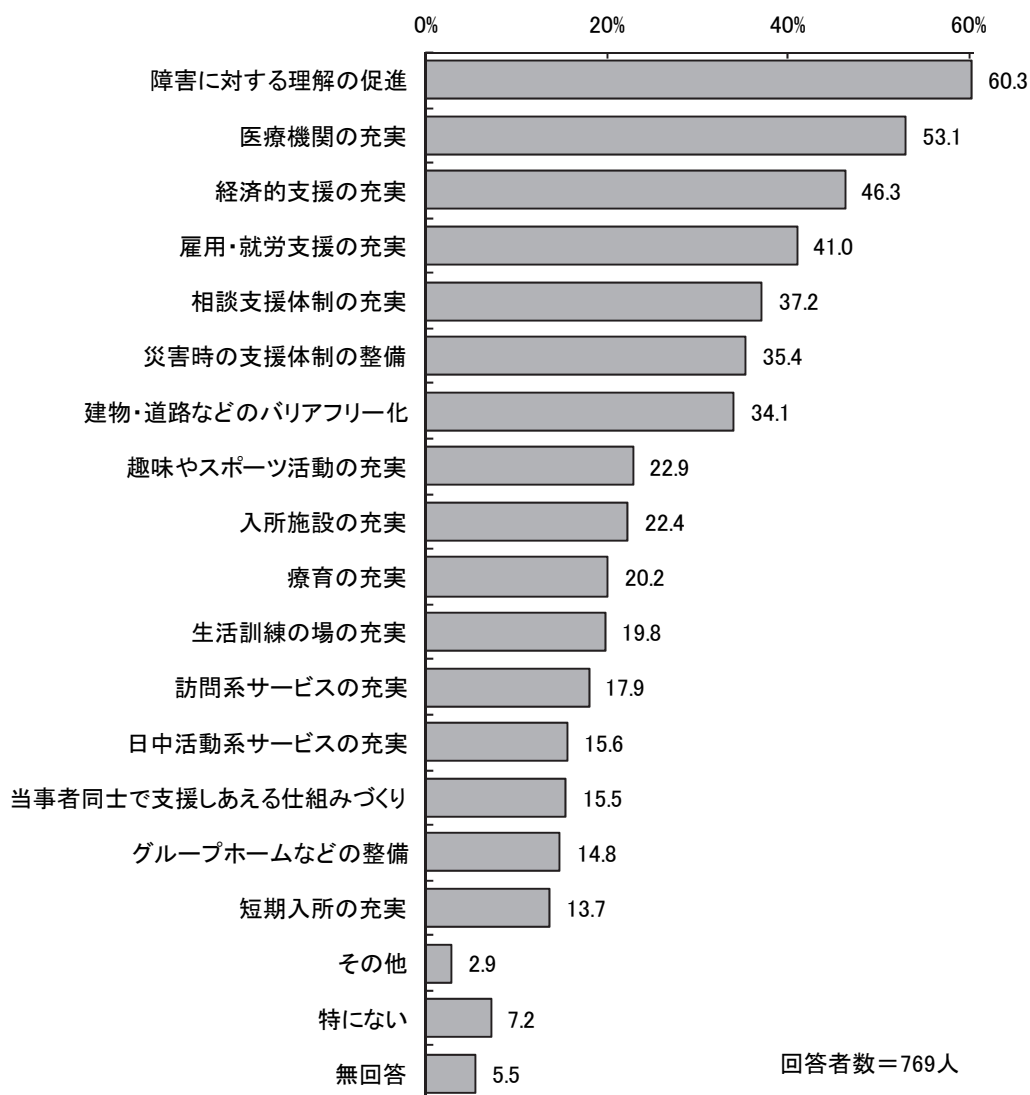
		回答者数(人)	広報「たいとう」	冊子 障害者のてびきなどの	ジ 台東区公式ホームペー	ツ 各種事業紹介パンフレ	下町YOU-Iチャンネル (ケーブルテレビ)	その他	無回答
全体		769	58.1	45.9	28.5	15.9	10.7	5.9	12.7
障害別	身体障害者	475	62.3	49.1	29.1	14.3	11.8	5.1	9.9
	知的障害者	134	37.3	47.0	18.7	18.7	9.7	9.7	25.4
	精神障害者	160	56.9	40.6	27.5	18.8	5.6	7.5	12.5
	難病医療費等助成利用者	96	66.7	44.8	35.4	17.7	8.3	3.1	7.3
	その他	4	100.0	25.0	100.0	25.0	50.0	0.0	0.0

(3) 地域で安心して暮らすために重要と思う施策

問32 障害者(児)が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域で安心して暮らすために重要と思う施策としては、「障害に対する理解の促進」60.3%、「医療機関の充実」53.1%、「経済的支援の充実」46.3%、「雇用・就労支援の充実」41.0%、「相談支援体制の充実」37.2%が上位5位にあげられている。

図表93 地域で安心して暮らすために重要と思う施策(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者、知的障害者及び難病医療費等助成利用者の上位3位は、「障害に対する理解の促進」「医療機関の充実」「経済的支援の充実」。
- ・精神障害者の上位3位は、「障害に対する理解の促進」「医療機関の充実」「相談支援体制の充実」。
- ・身体障害者は「建物・道路などのバリアフリー化」「災害時の支援体制の整備」が、それぞれ他の障害に比べて高い。
- ・知的障害者は「入所施設の充実」「グループホームなどの整備」「日中活動系サービスの充実」などが、それぞれ他の障害に比べて高い。

図表94 地域で安心して暮らすために重要と思う施策(障害別)

(単位:%)

	回答者数(人)	進 障害に対する理解の促進	医療機関の充実	経済的支援の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	備 災害時の支援体制の整備	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ活動の充実	入所施設の充実	療育の充実
全体	769	60.3	53.1	46.3	41.0	37.2	35.4	34.1	22.9	22.4	20.2
障害別	身体障害者	475	58.7	53.9	45.5	38.1	32.8	40.0	40.4	21.1	18.5
	知的障害者	134	59.0	46.3	46.3	38.8	41.8	32.8	24.6	37.3	26.1
	精神障害者	160	63.8	53.8	46.9	45.6	47.5	26.3	20.0	21.9	14.4
	難病医療費等助成利用者	96	64.6	63.5	55.2	46.9	40.6	30.2	37.5	22.9	26.0
	その他	4	100.0	75.0	25.0	75.0	50.0	75.0	50.0	25.0	100.0

	回答者数(人)	生活訓練の場の充実	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	グループホームなどの整備	短期入所の充実	その他	特にない	無回答
全体	769	19.8	17.9	15.6	15.5	14.8	13.7	2.9	7.2	5.5
障害別	身体障害者	475	17.7	18.1	13.1	14.1	11.4	12.4	1.3	8.6
	知的障害者	134	27.6	18.7	32.8	17.2	36.6	26.1	7.5	6.7
	精神障害者	160	16.9	18.1	13.1	16.3	8.1	8.8	5.6	5.0
	難病医療費等助成利用者	96	20.8	15.6	12.5	15.6	10.4	14.6	2.1	1.0
	その他	4	75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0

<身体障害の種類別にみたポイント>

上位3位

- ・ 視覚障害及び内部障害の人は「障害に対する理解の促進」「医療機関の充実」「経済的支援の充実」。
- ・ 聴覚障害の人は「障害に対する理解の促進」「経済的支援の充実」「災害時の支援体制の整備」。
- ・ 肢体不自由の人は「障害に対する理解の促進」「医療機関の充実」「建物・道路などのバリアフリー化」。

図表95 地域で安心して暮らすために重要と思う施策(身体障害の種類別) (単位:%)

		回答者数(人)	障害に対する理解の促進	医療機関の充実	経済的支援の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	災害時の支援体制の整備	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ活動の充実	入所施設の充実	療育の充実
全体		475	58.7	53.9	45.5	38.1	32.8	40.0	40.4	21.1	21.1	18.5
身体障害の種類別	視覚障害	46	63.0	52.2	43.5	26.1	26.1	41.3	39.1	23.9	17.4	15.2
	聴覚障害	41	70.7	41.5	48.8	41.5	31.7	46.3	24.4	24.4	12.2	4.9
	肢体不自由	222	54.5	53.2	46.4	36.9	34.2	38.3	51.8	23.0	26.1	20.3
	内部障害	135	58.5	57.0	47.4	43.0	26.7	40.7	32.6	17.0	14.8	20.7
	その他	38	57.9	55.3	31.6	39.5	42.1	31.6	26.3	23.7	23.7	21.1

		回答者数(人)	生活訓練の場の充実	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	グループホームなどの整備	短期入所の充実	その他	特になし	無回答
全体		475	17.7	18.1	13.1	14.1	11.4	12.4	1.3	8.6	4.4
身体障害の種類別	視覚障害	46	13.0	23.9	15.2	19.6	8.7	13.0	0.0	8.7	6.5
	聴覚障害	41	14.6	14.6	4.9	9.8	14.6	9.8	2.4	9.8	7.3
	肢体不自由	222	21.2	18.5	14.4	13.1	10.8	14.9	0.5	7.7	4.5
	内部障害	135	13.3	14.8	8.1	11.9	9.6	8.1	1.5	8.9	2.2
	その他	38	18.4	26.3	28.9	26.3	21.1	23.7	5.3	7.9	7.9

8. 自由回答

問33 その他、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にお書きください。

(1) サービスについて(43件)

身体障害者	40～64歳	特に歩けない人を家で介護すると家族の負担が大きく、ショートステイだけではなく、ロングステイももっとできると良いと思う。
精神障害者	18～39歳	本人の具合が悪い時、一時的にでも保護してくれる場所がほしい。
身体障害者	40～64歳	補装具は生活する上で絶対必要だが、所得制限があり、今まで受けた事がない。同じように補助が受けられることを希望する。
身体障害者、知的障害者	18～39歳	障害者利用施設が南部地区には少ない。駅近く（浅草橋）、ビルの一角にでも福祉関連の事業所（作業所含む）等考えていただきたい。
身体障害者	40～64歳	心臓病のため病院に通うのに都バスや地下鉄等が使えず、タクシー券を利用するしかないが足りない。医師の診断等があれば追加でタクシー券を出せないか。
身体障害者	65歳以上	介護者にも無料のパスの発行を希望する。区によっては60歳以上全員に無料パスの発行が行われている。
身体障害者	40～64歳	都営電車以外にもJRや営団地下鉄も無料にしてもらいたい。
精神障害者	65歳以上	入所施設の充実、数、質の向上を。個々の寝室はカーテンで区切られて、病室のようなので、もっと住宅にいるような雰囲気にしてほしい。
身体障害者	65歳以上	台東区の博物館、美術館などを国立美術館や東京都美術館同様に無料にしてほしい。めぐりんも無料または割引サービスがあるとうれしい。
身体障害者	40～64歳	在宅を希望しているので、ひとり暮らしになった時、見守りのサービスのようものがあつたらと思う。

知的障害者	18～39歳	成年後見人制度支援事業の充実をお願いしたい。第三者後見人の費用助成、後見人育成、後見制度の利用支援だけでなく、講演会、説明会のような広く勉強する機会があればと思う。
身体障害者	6～17歳	今後、医療ケアが必要な重度障害の方は増えると思うので、他区の重度障害児へのサービスなども参考に、さらにサービスの向上をお願いする。
身体障害者、知的障害者、難病医療費等助成利用者	18～39歳	障害のある人が施設ではなく、地域で豊かに生活していける場、住居設備の促進を希望する。
知的障害者	18～39歳	現在、知的障害者の通所施設は浅草ほうらいだけである。軽度も重度も同じ施設なのは問題で、あと1つは施設が必要だと思う。

(2) 障害に対する理解について(20件)

身体障害者	65歳以上	言語障害者に対する理解が薄い。不自由さに対する認識を深めるだけでなく広げてほしい。
知的障害者、精神障害者	18～39歳	障害者に対する理解の充実をお願いしたい。
身体障害者	40～64歳	他の人達から理解できない障害者がいる。その事が外出するとよくわかり、なかなか外出できずどうしても家にいる事が多い毎日で悲しい。
難病医療費等助成利用者	40～64歳	障害者に対してのサポートをもっと積極的に行えるような社会になればよいと思う。

(3) 経済的支援について(17件)

難病医療費等助成利用者	40～64歳	病気の進行と共に将来の生活を考えると、一番経済的な支援が必要。リハビリを受けられる療養機関の無料化や、日常生活を維持するための食事サービスを1日1回夕食でも受けられれば、負担も軽減され、栄養バランスもとれ、安全確認もできる。
精神障害者	40～64歳	仕事ができない障害者には最低生活保護費を基に、1か月13万円以上障害年金を確保すべき。

精神障害者	18～39歳	高齢者だけでなく、若い障害者が治療費や通院費の心配をすることなく、安心して治療に専念できるよう、せめて区のサービスだけでも無料化してほしい。
精神障害者	18～39歳	精神科でカウンセリングが必要と言われたが、病気のため働けない現状では受けられない。自立支援の制度がカウンセリングも適用される事を願う。

(4)建物・道路等のバリアフリー化について(13件)

身体障害者、 難病医療費等 助成利用者	40～64歳	区役所のエレベーターの辺りやエレベーターの中が暗く、目の悪い私は苦勞している。東日本大震災以降、公共交通機関の通路や階段が暗くなってしまい、つまずいたり、人に当たりそうになってしまいとても不自由を感じる。
身体障害者	65歳以上	J R 浅草橋駅のエレベーター、エスカレーターの設置（他、地下鉄各駅も）。
身体障害者	40～64歳	隅田川沿い遊歩道の整備。
身体障害者	40～64歳	自転車専用道路の設備を整えてほしい。
身体障害者	40～64歳	段差のない、自転車を放置していない歩道をめざしてほしい。めぐりんはとてもよく利用しており、もっと路線が増えたら行動範囲が広がってうれしい。

(5)就労支援について(12件)

精神障害者	40～64歳	障害者の一般就労に力を尽くしてほしい。
身体障害者、 難病医療費等 助成利用者	18～39歳	難病、障害を抱えて、現在、幸いにも就労する事ができたが、職探しに大変な苦勞をした。就労支援の充実・アドバイスをお願いする。
身体障害者	40～64歳	一般就労の仕事に就きたい。受け入れ数が少ないので障害者のできるような仕事を増やしてもらいたい。障害の枠が少ないように思う。
知的障害者	6～17歳	作業所も採用はないと聞く。就職先が少ないので企業に積極的な採用をお願いしたい。

(6)情報提供・相談支援体制について(10件)

身体障害者	40～64歳	障害はあるが日常生活は問題なく送っているため、色々知らないことが多いことを改めて思い知らされた。「障害者のてびき」は改訂されたらぜひほしい。
身体障害者	40～64歳	体を動かす事ができなくても、今はインターネット等を利用すれば色々な情報を入手する事ができる。メーリングリストやSNSをもっと活用してほしい。
精神障害者	40～64歳	精神障害があり家に引きこもりの生活で、人とのコミュニケーションなど、家族に言っても理解できない。診察日以外の日々の不安や苦痛の相談相手がほしい。
精神障害者	40～64歳	私は病気（うつ病）の事をクローズで働いている。働いていて悩んだ事や困った時に、気軽に相談できる場所がもっと身近にあったら良いのと思う。

(7)アンケート調査について (9件)

身体障害者	18～39歳	区役所の問い合わせ欄に電話番号とFAX番号が書かれているが、E-mailでも対応してほしい。
難病医療費等助成利用者	65歳以上	今年の4月から障害者の範囲に難病等が加わったばかりだそうで、答えようのない項目が多かった。調査が必要なら別項目を設定すべきではないかと思われる。
知的障害者、精神障害者	40～64歳	回答を代理したが、答えられる、理解できる質問でないとし難しい。今後はそういった部分への配慮が必要ではないかと思う。

(8)区等の対応について (8件)

身体障害者、精神障害者	18～39歳	窓口の職員の方の障害に対する理解を深めてもらいたい。電話対応、直接訪れた時の窓口、手続き等の対応を改善して、感じの良い対応に変えてほしい。
精神障害者	6～17歳	区役所内で障害者に関する制度や諸手続きについて、内容・手順の把握を徹底していただきたい（担当課でも間違えた案内をする方がいた）。
身体障害者	18～39歳	平日9:00～17:00の対応ではなく、土・日等も相談できる窓口が広く開設される事を強く希望する（生活、就労等への不安について相談できる機関）。

身体障害者	18～39歳	障害関連の手続きを行うのに、毎回役所に直接行かなくてはいけないことが多く、仕事を行う上で大変。郵送やHPなどでできるようにしてほしい。
-------	--------	---

(9) 災害時の支援体制について(7件)

身体障害者	65歳以上	災害時の支援体制に不安を感じている。特に医療面において至急配慮してほしい。
身体障害者、 難病医療費等 助成利用者	40～64歳	地震が起きた時に病院に行けなくなった時、緊急で透析ができる場所などを検討してほしい。
身体障害者	40～64歳	災害時の支援体制の整備を早急に希望する。災害時には区役所のどの課に連絡をすればよいのかわからない。福祉課に担当部署はあるか？

(10) 親亡き後の支援について (5件)

身体障害者	18～39歳	障害者が感じるであろう一番の不安は、親がいなくなった時、どう自分で生きていくかという事。仕事、収入、居住の場所、充実した医療などを希望する。
知的障害者	18～39歳	障害者が生活しやすい環境をつくってほしい(親がいなくなつてからの生活、他)。

(11) 療育・教育について(4件)

知的障害者	6～17歳	子どもの成長にあった場所で、成長する可能性を信じ、過ごさせてあげたい。特別学級と普通級はあまりにも差がありすぎる。その中間ぐらいのクラスを整備してほしい。
知的障害者	0～5歳	現在療育を受けているが、小学校や中学校に行っても定期的に療育を続けてほしい。成長とともにその道のプロの方からのアドバイスがほしい。また、同じ障害を持った子どもを持つ親同士が知り合える場所や話のできる場所があるといいなと思う。

(12)医療機関について(3件)

身体障害者	18～39歳	透析が必要になった際、障害者手帳や医療費助成について病院側から一切説明がなかった。せめて窓口の存在くらい患者に知らせるよう病院側に周知してほしい。
身体障害者、知的障害者	40～64歳	高齢化に伴う医療面での支援。知的障害があると病院より個室と付き添いを頼まれ、費用負担が重い。
知的障害者	40～64歳	障害があると医療を大変受けづらい状態である（病院で受けてもらえない）ので、行政の力添えがほしい。

(13)その他 (14件)

身体障害者	18～39歳	障害者同士の交流を深めるイベントやコミュニティがほしい。
知的障害者	18～39歳	区内に障害者のためのスポーツセンターを希望する。自閉症（重度）の子どもを連れて行く場所がなく困っている。
身体障害者	40～64歳	財政難で大変だと思うが、これからもより良い障害者への暮らしをお願いしたい。
身体障害者	40～64歳	都道府県によってサービスが違う（障害者手当など）。全国どこへ引っ越しをしても同じサービスが受けられればいいと思う。
身体障害者	18～39歳	私は現在の台東区の福祉は充実していると思う。今後、今にない支援の充実も大事なことだとは思いますが、今ある支援も続けていくようお願いしたい。